

甲西市民総合グラウンド管理棟他改築工事

設 計 図

南 ア ル プ ス 市

甲 西 市 民 総 合 グ ラ ウ ン ド 管 理 棟 他 改 築 工 事
図 面 リ ス ト

建 築 主 体 工 事		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺
A - 00	図面リスト	—
A - 01	特記仕様書-1	NO SCALE
A - 02	特記仕様書-2	NO SCALE
A - 03	特記仕様書-3	NO SCALE
A - 04	特記仕様書-4	NO SCALE
A - 05	付近見取り図・面積表	NO SCALE
A - 06	敷地面積求積図	S=1:500
A - 07	配置図	S=1:500
A - 08	現況図	S=1:500
A - 09	公図写し	S=1:500
A - 10	管理棟：仕上表・平面図・立面図・断面図	S=1:100
A - 11	管理棟：矩計図・建具表	S=1:25・100
A - 12	管理棟：基礎伏図・基礎断面図	S=1:20・100
A - 13	管理棟：梁伏図・部材リスト	S=1:20・100
A - 14	管理棟：軸組図	S=1:100
A - 15	管理棟：鉄骨詳細図	S=1:20
A - 16	トイレ棟：仕上表・平面図・立面図・断面図・建具表	S=1:100
A - 17	トイレ棟：矩計図	S=1:20
A - 18	トイレ棟：基礎伏図・基礎断面図	S=1:20・100
A - 19	トイレ棟：梁伏図・軸組図・部材リスト	S=1:20・100
A - 20	トイレ棟：鉄骨詳細図	S=1:20
A - 21	車庫（倉庫）：平面図・立面図・断面詳細図	S=1:30・100
A - 22	車庫（倉庫）：基礎伏図・基礎詳細図	S=1:20・50
A - 23	物置4・5：平面図・立面図	S=1:30
A - 24	物置4・5：基礎伏図・基礎詳細図	S=1:20・30
A - 25	グラウンド既設施設 資料（移設建物）	NO SCALE

電 気 設 備 工 事		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺
E - 01	電気設備特記仕様書	NO SCALE
E - 02	分電盤結線図	NO SCALE
E - 03	照明器具姿図	NO SCALE
E - 04	電灯コンセント設備 管理棟：平面図	S=1:100
E - 05	電灯コンセント設備 トイレ棟：平面図	S=1:100
E - 06	電灯コンセント設備 車庫（倉庫）：平面図	S=1:100

機 械 設 備 工 事		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺
M - 01	機械設備特記仕様書	NO SCALE
M - 02	管理棟 衛生設備配置図	S=1:400
M - 03	管理棟 器具表 機器表	NO SCALE
M - 04	管理棟 衛生設備平面図	S=1:50
M - 05	管理棟 浄化槽設備平面図	S=1:20
M - 06	管理棟 換気設備平面図	S=1:50
M - 07	トイレ棟 衛生設備配置図	S=1:400
M - 08	トイレ棟 器具表 機器表	NO SCALE
M - 09	トイレ棟 機械設備平面図	S=1:50
M - 10	トイレ棟 浄化槽設備平面図	S=1:20

[illegible]

甲西市民総合グラウンド管理棟他改築工事 設計図

令和 5 年 3 月

仕様書

I 工事概要

敷地所在地	山梨県南アルプス市宮沢 地内
都市計画区域	区域区分未設定都市計画区域
防火指定	指定なし
その他の地域地区	該当なし
道路	市道 南沢 42号線、大師 7・8・12号線
敷地面積	20,949.28㎡
用途地域	工業専用地域
建坪率	1.35 %
容積率	1.35 %
建物の主要用途	市民総合グラウンド 管理棟・屋外トイレ
工事の種類	新設・既存移設
棟数	本工事：3棟 土木工事（別途工事）：9棟 計 12棟
構造・階数	図 示
建築面積	図 示
延べ床面積	図 示
最高の高さ	図 示
最高の軒高さ	図 示
消防法上の有窓隙・無窓隙	有窓隙
下水の放流形式	小型合併処理浄化槽（道路側溝へ放流）

工事種目

・管理棟新設工事

・トイレ棟新設工事

・車庫（倉庫）新設工事

・物置 新設工事

・既存建物 移設工事

II 工事範囲

※「3. 工事種目」全てを工事範囲とする。
・「3. 工事種目」のうち 〃 の工事範囲は下記表のとおりとする。
ただし、他の工事種目は全て今回工事範囲とする。

2 仮設工事	工事範囲全て
3 土工事	工事範囲全て
4 地盤工事	工事範囲全て
5 鉄筋工事	工事範囲全て
6 コンクリート工事	工事範囲全て
7 鉄骨工事	
8 コンクリートブロック・ALCパネル 押出成形セメント板工事	
9 防水工事	工事範囲全て
10 石工事	
11 タイル工事	
12 木工事	
13 屋根及びとい工事	工事範囲全て
14 金属工事	工事範囲全て
15 左官工事	工事範囲全て
16 建具工事	工事範囲全て
17 カーテンウォール工事	
18 塗装工事	
19 内装工事	工事範囲全て
20 ユニット及びその他の工事	工事範囲全て

III 建築工事仕様

1. 共通仕様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和 4 年版）」（以下、「標仕」という。）による。また、改修工事に関しては国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書（令和 4 年版）による。

(2) 工事関係提出書類等については「請負工事 事務処理要領書」（南アルプス市教育委員会 教育総務課）を熟読し、遺漏の無いように提出すること。（以下の内容にはこの資料と重複する項目があるが特に留意すべき事項として記載されている。）

(3) 別途発注土木工事と工程管理等について十分に打合せを行い、関連部の調整をはかり現場運営にあたること。

(4) 本工事は、週休2日適用工事として、4週8休以上の現場閉所を見込んでいる。
取扱いについては、令和6年 4 月1日から適用する「南アルプス市週休2日工事実施要領」による。

2. 特記仕様

(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。
(3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の（別 ）は（5.3.7）による別図「各部配筋」の当該項目を示す。
(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（ ）内は製品名を示す。
(6) 図印は「図等による環境物品等の調達の推進に関する法律」の特定調達品目を示す。

章

項目

特記事項

① 一般共通事項

① 適用基準等

○建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官庁官庁営繕部建築監修 最新版）
・工事写真の撮り方（改訂第3版）建築編（国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修）

② 工事実績情報の登録

※適用する (1.1.4)

③ 施工計画書

○工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。
○施工計画の内容を変更する必要がある場合は、監督職員に報告するとともに、施工に支障がないよう適切な措置を講ずる。 (1.2.2)

④ 電気保安技術者

工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。
○※ 不要 (1.3.3)

⑤ 施工条件

工事着手については監督職員と協議し着手する。 (1.3.5)
令和 年
3月 4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 4月

⑥ 発生材の処理等

※現場説明書による ○構外搬出適切処理 (1.3.11)

⑦ 建築材料等

本工事に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、JIS及びJASマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の（1）～（6）の事項を満たすものとする。
(1) 品質及び性能に関する試験データが整備されていること
(2) 生産施設及び品質の管理が適切に行われていること
(3) 安定的な供給が可能であること
(4) 法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること
(5) 製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
(6) 販売、保守等の営業体制が整えられていること
なお、これらの材料を使用する場合は、設計図書に定める品質及び性能を有することの証明となる資料又は外部機関（社）公共建築協会 他）が発行する資料等の写しを監督職員に提出して承諾を受けるものとする。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。
また、備考欄に商品名が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、監督職員の承諾を受ける。

⑧ 化学物質を放散する建築材料等

建築材料の使用制限

建築材料等について、規制の対象となる範囲は下地、仕上り材共にF☆☆☆☆または規制対象外の建材を用いることとし、該当する材料が無い場合は監督職員の承諾を受けF☆☆☆☆のものを採用するを含む）を使用すること。

⑨ 特別な材料の工法

標仕に記載されていない特別な材料の工法については、材料製造所の指定する工法とする。

⑩ 技能士

適用工事種別

技能検定の職種

鉄筋工事	○鉄筋施工（鉄筋組立て作業）
コンクリート工事	○配筋施工
鉄骨工事	・とび
ブロック・ALCパネル工事	・ブロック建築 ・ALCパネル施工
防水工事	・アスファルト防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ・塗装防水工事作業 ○シーリング防水工事作業
石工事	・石材施工（石張り施工）
タイル工事	・タイル張り
木工事	・建築大工
屋根及びとい工事	○建築板金（内外装板金作業）
金属工事	○内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業）
左官工事	○左官
建具工事	○サッシ施工 ○ガラス施工 ・自動ドア施工
カーテンウォール工事	・カーテンウォール施工 ・サッシ施工 ・ガラス施工
塗装工事	・塗装（建築塗装作業）
内装工事	・プラスチック系床仕上げ工事作業
植栽工事	○ボード仕上げ工事作業 ・表装（壁装作業） ・造園

⑪ 電子納品

○工事関係図書を電子納品すること
○適用基準は以下の通りとする。（作成・納品の基準、納品する資料の範囲等）
○南アルプス市教育委員会 教育総務課「請負工事 事務処理要領書（最新版）」による。
○書面による署名及び捺印の取り扱い（電子成果物の原本性保証に関する措置）
電子納品の導入にあたっては、従来の署名または捺印に代わる措置として、電子署名の導入が求められるが、電子署名の導入は現時点では困難であるため、
1） 受注者は電子媒体の内容の原本性を明らかにするため、電子媒体に署名又は捺印の上、提出する。
2） 共通仕様書に基づく各書面に対する署名又は捺印は、上記 1）の措置を持って代えることができる
○設計図CADデータ貸与する。
○設計図CADデータの著作権は以下の者にある
貸与するCADデータを当該工事における施工図面又は完成図の作図のため以外に使用してはならない。
南アルプス市教育委員会 生涯学習課
(1.5.9)
施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの5物質について測定し、厚生労働省で定める指針値以下の濃度であることを確認し、測定結果報告書を監督職員に提出すること。（測定結果が指針値を超えた場合は、発生源を特定し、換気などの措置を講じた後、再度測定を行う。）

測定対象化学物質	厚生労働省の指針値（25℃の場合）
ホルムアルデヒド	0.08 ppm（ 100μg/m ³ ）
トルエン	0.07 ppm（ 260μg/m ³ ）
キシレン	0.20 ppm（ 870μg/m ³ ）
エチルベンゼン	0.88 ppm（ 3,800μg/m ³ ）
スチレン	0.05 ppm（ 220μg/m ³ ）

測定はパッシブ型採取機器により行う。
着工前の測定 ・行う
測定対象室 ・図示 ・全居室
測定箇所数 ・図示 ・12箇所
測定結果の報告

※作成する ・作成しない (1.7.1～3）（表1.7.1）
※完成図 提出部数 ※各2部 ・部（A3版第2原図及び電子媒体（CD-R））
※施工計画書 提出部数 ※1部 ・部
※施工図 提出部数 ※1部 ・部
※保全に関する資料 提出部数 ※1部 ・部
○南アルプス市教育委員会 教育総務課「請負工事 事務処理要領書（最新版）」による。

下記のものを監督職員に提出する。ただし、原稿は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原稿の大きさ（mm）
・カラー ※キャビネ版	外部（7）内部（各室4）	※2 ・6	※100×125以上
・カラー半切木製パネル 324×400（mm）	外部（ ）内部（ ）	※ 2	
・電子データ	外部（ ）内部（ ）	※ 2	※200万画素以上 ※300dpi 以上

100×125以上の原稿を使う場合は、監督職員にあらかじめためた機を提出し確認を受ける。
電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする）

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
現状GLを設計GLとする 図 図示
○南アルプス市教育委員会 教育総務課「請負工事 事務処理要領書（最新版）」による。

⑫ 完成写真

下記のものを監督職員に提出する。ただし、原稿は撮影業者の保管とする。

分類・規格	撮影箇所数	提出部数	原稿の大きさ（mm）
・カラー ※キャビネ版	外部（7）内部（各室4）	※2 ・6	※100×125以上
・カラー半切木製パネル 324×400（mm）	外部（ ）内部（ ）	※ 2	
・電子データ	外部（ ）内部（ ）	※ 2	※200万画素以上 ※300dpi 以上

100×125以上の原稿を使う場合は、監督職員にあらかじめためた機を提出し確認を受ける。
電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-Rにて提出とする。
撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影業者（ただし、建築完成写真撮影の実績のある業者とする）

設備機器の位置、取合い等の検討できる施工図を提出して、監督職員の承諾を受ける。
現状GLを設計GLとする 図 図示
○南アルプス市教育委員会 教育総務課「請負工事 事務処理要領書（最新版）」による。

⑬ 設備工事との取合い

⑭ 設計GL

⑮ 工事写真

② 仮設工事

① 監督職員事務所

※設ける
規模 ・1号 ・2号 ・3号 ・4号 ・5号
・設けない
・備品（必要備品は適宜設置）
(2.3.1)
② 工事用水
構内既存の施設
・利用できる（ ※有償 ・無償 ） ※利用できない
③ 工事用電力
構内既存の施設
・利用できる（ ※有償 ・無償 ） ※利用できない

③ 土工事

① 埋戻し及び盛土

種類 ・ A種 ※B種 ・ C種 ・ D種 (3.2.3）（表3.2.1）
・建設汚泥から再生した処理土 図
(3.2.5)
② 建設発生土の処理
※現場説明書による ・構内指示の場所にたい積 ・構内指示の場所に敷き均し

④ 地盤工事

1 既製コンクリート杭地業

種類
※高強度プレストレストコンクリート杭
(4.3.1～3)

	杭径（mm）	杭長（m）及び種別	継手数	セツト数	備考
試験杭					
本 杭					

杭頭の処理 ※切断しない ・ (4.3.8)
先端部形状 ※開放形 ・閉そく平たん形
杭の継手 建築基準法に基づく指定又は認定を受けた継手を使用してもよい。 (4.3.6)
施工法 (4.3.4～5)
・特定埋込み杭工法
工法 ・フレポーリング拡大根固め工法 ・中掘拡大根固め工法
H13国土交令1113号第6による支持力算定式でα=250程度を採用できる工法
杭周囲定液 ・使用する
セメントの種類 6章コンクリート工事のセメントの種類による

2 場所打ちコンクリート杭地業

① 砂利地業

④ 床下防湿層

⑤ 鉄筋工事

⑥ 構造図参照

⑦ 鉄筋の種類

⑧ 鉄筋の継手

⑨ 鉄筋の最小かぶり厚さ

4 既製コンクリート杭の杭頭補強

5 最上階柱頭補強

⑩ 帯筋

7 壁開口部の補強

⑪ 梁貫通孔の補強形式

9 機械吊上げ用フック

10 圧接完了後の試験

⑫ コンクリート工事

⑬ 構造図参照

⑭ 普通コンクリートの設計基準強度

⑮ レディーミクストコンクリートの種類

⑯ スランブ

⑰ セメントの種類

⑱ 骨材の種類

⑲ 混和材料

7 無筋コンクリート

8 コンクリート躯体表面の処理

9 断熱材兼用型特

コンクリートの種類及び設計基準強度 (4.5.4）（表4.5.1）
（ ）種かつ（ ）N/mm²以上
鉄筋の種類 5章鉄筋工事の鉄筋の種類による (4.5.4)
堀削工法 ・アースドリル工法（ ・安定液使用 ・無水堀削） (4.5.5）
・リバース工法
・オールケーシング工法（孔内の水張 ・行う ・行わない） (4.5.6)
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法
・協成杭工法（※安定液使用 ・ ）
側壁測定 ・行う（ ） ・行わない (4.5.5)
セメントの種類 6章コンクリート工事のセメントの種類による
① 砂利地業 ※再生クラッシュサン 図 ・切込み砂利及び切込み砕石 (4.6.3)
④ 床下防湿層 施工箇所 ※建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く） (4.6.5)
⑤ 鉄筋工事
⑥ 構造図参照 (5.2.1）（表5.2.1）
1 鉄筋の種類

種類の記号	呼び名（mm）
・SD295A	※D16以下 ・
・SD345	※D19以上 ・

⑦ 鉄筋の継手 呼び名19mm以上の柱、梁の主筋 ※ガス圧接 ・重ね継手 (5.3.4)
⑨ 鉄筋の最小かぶり厚さ 最小かぶり厚さは目地底から算定する。 (5.3.5)
・耐久性上不利な箇所鉄筋の最小かぶり厚さは下表による。

施工箇所	表5.3.6 の値に加える寸法（mm）
・柱、梁、壁及び応などの外気に接する打放し面	※10 ・

4 既製コンクリート杭の杭頭補強 ・ A 形 ・ B 形 ※図示
5 最上階柱頭補強 ※行う ・行わない (別2.1)
⑩ 帯筋 ※ H 形（口は除く） (別2.2)
7 壁開口部の補強 一般壁 ・ A 形 ※ B 形 ・図示 (別4.4）（別表4.3～4）
耐震壁 ※図示
⑪ 梁貫通孔の補強形式 ※ H 形 ・ M H 形 ・ M 形 (別7.1）（別表7.1～3）
9 機械吊上げ用フック ・ A 種 ・ B 種 ・ C 種 （ ケ所)
10 圧接完了後の試験 ※超音波探傷試験 ・引張試験 (5.6.5)
⑫ コンクリート工事
⑬ 構造図参照 (6.2.2)
⑭ 普通コンクリートの設計基準強度

設計基準強度 F _o （N/mm ² ）	施工箇所
※ 21	
・ 27	

⑮ レディーミクストコンクリートの種類 ※ I 類 ・ II 類 (6.2.1）（6.4.1～2）（表6.2.1）
⑯ スランブ 18cm (6.2.4)
⑰ セメントの種類 (6.3.1）（6.13.2）（表6.3.1）
※普通ポルトランドセメント又は混合セメントの A 種
・高炉セメント B 種 図（ ・ ）
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規定の他、次の規定の全てに適合するものとする。ただし、無筋コンクリートに用いる場合を除く。

水和熱	7 d 352 J/g 以下
	28 d 402 J/g 以下

⑱ 骨材の種類 アルカリシリカ反応による区分 (6.3.1)
※ A
・ B（※コンクリート中のアルカリ総量 Rt=3.0kg/m³以下）
⑲ 混和材料 混和材 仕様箇所 屋外タキ部分を除く全体：コンクリート躯体防水剤
躯体軸部：高性能 AE 減水材
7 無筋コンクリート 設計基準強度 ※18N/mm² (6.14.1)
8 コンクリート躯体表面の処理 外装タイル後張り面の躯体表面の処理
MOR工法を行う場合は、せき板面にMOR工法用気泡ポリエチレンシート張りとし、仕上り面凹凸状態とする。高圧水洗工法の目荒しを行う場合は、水圧50N/mm²以上かつ、2.5分/m以上とし、施工計画書を監督に提出し承諾を受ける。また、目荒しの状態は、事前に監督職員に承諾を受ける。

コンクリートの増打ち厚さ ※20mm
※施工範囲は図示による。
9 断熱材兼用型特 適用及び適用箇所について
標仕19章内装工事9断熱材による。

承認

設計

担当

縮尺

NO SCALE

工事名称




甲西市民総合グラウンド管理棟他改築工事

設計年月日

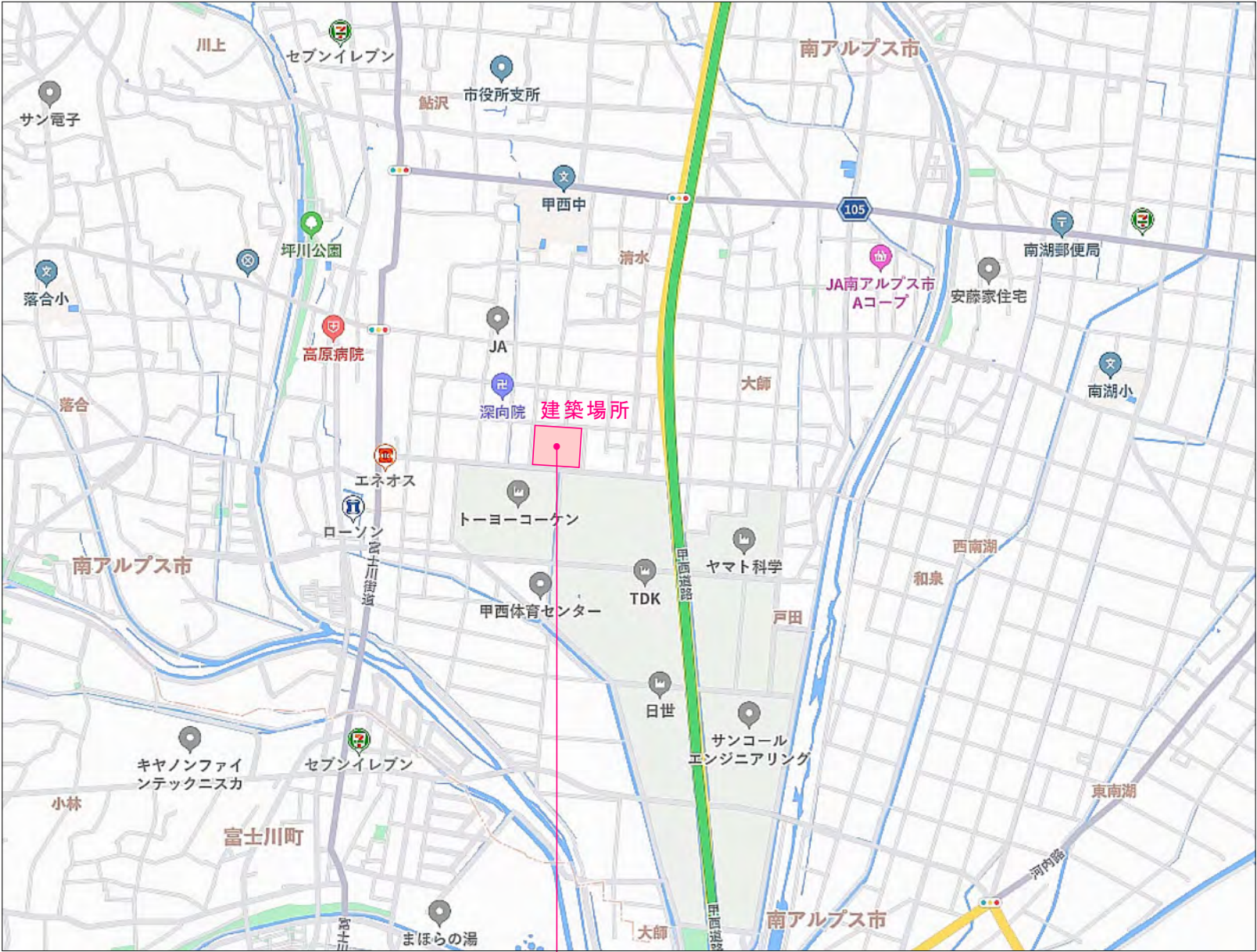
図面名称

特記仕様書-1

№. A- 01

7	鉄骨工事	鉄骨の製作工場	製作工場の加工能力 ：監督職員の承諾する製作工場 ：建築基準法第77条の4第1項に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認可を受けた（株）日本鉄骨評価センター又は（社）全国鐵構工業協会の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める「（ ）グレード」として国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場。 入熱、バス間温度の溶接条件 適用箇所 ・ 図示 ・ 柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部 鋼材と溶接材料の組み合わせと溶接条件 ※図示	8	コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1 補強コンクリートブロック造 (8.2.2) 2 コンクリートブロック 横壁及び壁 (8.3.2) 3 A L Cパネル (8.4.2～5) (表8.4.2～4) 4 押出成形セメント板 (EOP) (8.5.1～2)	9	防水工事	1 アスファルト防水 (9.2.2～3) (表9.2.3～9) 2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2～3) (表9.3.1～3) 3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2～3) (表9.4.1～3) 4 塗膜防水 (9.5.2～3) (表9.5.1～2) 5 ケイ酸質系塗布防水 (9.6.2) (表9.6.1) ⑥ シーリング (9.7.2) (表9.7.1)	10	石工事	1 天然石張り (10.2.1) (表10.2.1～2) 2 テラソ張り (10.2.1) (表10.2.2)	11	タイル工事	1 陶磁器質タイル (11.2.2) 2 張り付け用材料 (11.2.3) 3 壁タイル張りの工法 (11.3.5) (表11.3.2) 12 木工事	12	1 木材の品質 (12.2.1) ・市販品 ・保存処理木材を適用する箇所（ ） 2 樹種 (12.2.1) ・特記による（ ） ・代用樹種を適用しない箇所（ ） ・県産材指定箇所（ ） (12.2.1) 3 集成材等 ㊦ (12.2.1) <table border="1"> <tr> <th>品 名</th><th>規格・品質</th><th>芯材の種類</th><th>化粧単板の樹種</th></tr> <tr> <td>※集成材</td><td>※一般材</td><td>・たも ・なら ・しおじ</td><td rowspan="4">  </td></tr> <tr> <td>※構造用集成材</td><td>・1種 ※2種 ・3種</td><td>・</td></tr> <tr> <td>※造作用集成材</td><td>※1等 ・2等</td><td>・</td></tr> <tr> <td>・化粧ばり造作用集成材</td><td>※1等 ・2等</td><td>・</td></tr> </table> ホルムアルデヒドの放数量 ※規制対象外 ・ 第三種 4 接着剤 (12.2.2) 接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。 ユリア樹脂、メラミン樹脂、フェノール樹脂、レゾルシノール樹脂又はホルムアルデヒド系防腐剤（以下、「ユリア樹脂等」という）を用いた接着剤のホルムアルデヒドの放数量 ※規制対象外 ・ 第三種 5 防腐・防蟻処理 (12.3.1) 行う箇所（ ） (12.3.2) 防腐・防蟻処理 ※行う（※図示 ・ ） 防虫処理 ・ 行う（※図示 ・ ） 防腐・防蟻処理の種類、品質 表面処理用木材保存剤（防腐・防蟻剤）は監督職員の承諾するものとする。 6 床板張り (12.6.1) (表12.6.1) <table border="1"> <tr> <th>フロアリング及び縁甲板張り床</th><th>(12.6.1) (表12.6.1)</th></tr> <tr> <td>下張り用床板</td><td> <table border="1"> <tr> <td>※無し</td><td>※合板張り</td><td>ホルムアルデヒドの放数量 ※規制対象外 ・ 第三種</td></tr> <tr> <td>・ 有り</td><td>・ 板張り</td><td></td></tr> </table> </td></tr> <tr> <td>床板</td><td> <table border="1"> <tr> <td>※単層フロアリング (標仕19.5.2tによる)</td><td>ホルムアルデヒドの放数量 ※規制対象外 ・ 第三種 ※ひのき ・</td></tr> <tr> <td>・ 縁甲板</td><td></td></tr> </table> </td></tr> </table> ⑬ 左管工事	品 名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種	※集成材	※一般材	・たも ・なら ・しおじ		※構造用集成材	・1種 ※2種 ・3種	・	※造作用集成材	※1等 ・2等	・	・化粧ばり造作用集成材	※1等 ・2等	・	フロアリング及び縁甲板張り床	(12.6.1) (表12.6.1)	下張り用床板	<table border="1"> <tr> <td>※無し</td><td>※合板張り</td><td>ホルムアルデヒドの放数量 ※規制対象外 ・ 第三種</td></tr> <tr> <td>・ 有り</td><td>・ 板張り</td><td></td></tr> </table>	※無し	※合板張り	ホルムアルデヒドの放数量 ※規制対象外 ・ 第三種	・ 有り	・ 板張り		床板	<table border="1"> <tr> <td>※単層フロアリング (標仕19.5.2tによる)</td><td>ホルムアルデヒドの放数量 ※規制対象外 ・ 第三種 ※ひのき ・</td></tr> <tr> <td>・ 縁甲板</td><td></td></tr> </table>	※単層フロアリング (標仕19.5.2tによる)	ホルムアルデヒドの放数量 ※規制対象外 ・ 第三種 ※ひのき ・	・ 縁甲板		15	1 モルタル塗り材料 (15.3.2) (表15.3.2) <table border="1"> <tr> <th>全固形分（％）</th><th>吸水量（g）</th><th>接着強度（N/mm²）</th><th>界面破壊率（％）</th></tr> <tr> <td>表示値±1.0以内</td><td>30分で1g以下</td><td>1.00以上</td><td>50以下</td></tr> </table> 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 防水剤（防水モルタル塗りの混入剤） (15.3.2) 防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤 <table border="1"> <tr> <th>混合割合</th><th>凝結時間</th><th>曲げ及び圧縮強度比</th><th>吸水比</th><th>透水比</th></tr> <tr> <td>セメント重量の5%以下</td><td>JIS R 5201の試験において 地盤 1時間以上 終結 10時間以内</td><td>70%以上</td><td>95%以下</td><td>80%以下</td></tr> </table> 膨張性のひび割れ及びそりがないこと。 ② 床コンクリートの直均し仕上げ (表6.2.5) (15.4.2) <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th><th>平たんさ（mm）</th><th>備 考</th></tr> <tr> <td></td><td>1mにつき10以下</td><td></td></tr> <tr> <td></td><td>3mにつき7以下</td><td></td></tr> </table> 3 仕上塗材仕上げ (15.6.2) (表15.6.1) <table border="1"> <tr> <th>種 類</th><th>呼び名</th><th>仕上りの形状等</th></tr> <tr> <td>・ 薄付け仕上塗材</td><td>・ 外装薄塗材 S i ・ 可とう形外装薄塗材 S i</td><td>・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 砂壁状 ・ ゆず肌状</td></tr> <tr> <td>・ 外装薄塗材 E</td><td>・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状</td><td></td></tr> <tr> <td>・ 内装薄塗材 E</td><td>・ 砂壁状じゅらく ・ ゆず肌状</td><td></td></tr> <tr> <td>・ 可とう形外装薄塗材 E</td><td>・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状</td><td></td></tr> <tr> <td>・ 防水形外装薄塗材 E</td><td>・ ゆず肌状 ・ さざ波形 ・ 凹凸状</td><td></td></tr> <tr> <td>・ 外装薄塗材 S</td><td>・ 砂壁状</td><td></td></tr> <tr> <td>・ 内装薄塗材 C</td><td>・ 凹凸上 ・ ゆず肌状</td><td></td></tr> <tr> <td>・ 内装薄塗材 L</td><td>・ 凹凸上 ・ ゆず肌状</td><td></td></tr> <tr> <td>・ 内装薄塗材 S i</td><td>・ 砂壁状じゅらく ・ ゆず肌状</td><td></td></tr> <tr> <td>・ 内装薄塗材 W</td><td>・ 京壁状じゅらく</td><td></td></tr> <tr> <td>・ 複層仕上塗材</td><td>・ 複層塗材 C E ・ 可とう形複層塗材 C E ・ 複層塗材 S i ・ 複層塗材 E ※複層塗材 R E ・ 防水形複層塗材 C E ・ 防水形複層塗材 E ・ 防水形複層塗材 R E</td><td>・ ゆず肌状 ・ 凸凹処理 ※凹凸模様 耐水性 ※3種 ・ 上塗材 溶媒 ※水系 ・ 溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・ つやなし ・ メタリック</td></tr> <tr> <td>・ 軽量骨材仕上塗材</td><td>・ 吹付用軽量塗材 ・ こて用軽量塗材</td><td>・ 砂壁状 ・ 平たん状</td></tr> </table> 建物内部に使用するユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外 ・ 第三種 防火材料の指定 ※屋内の壁、天井の仕上り材は防火材料とする。	全固形分（％）	吸水量（g）	接着強度（N/mm ² ）	界面破壊率（％）	表示値±1.0以内	30分で1g以下	1.00以上	50以下	混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比	セメント重量の5%以下	JIS R 5201の試験において 地盤 1時間以上 終結 10時間以内	70%以上	95%以下	80%以下	施工箇所	平たんさ（mm）	備 考		1mにつき10以下			3mにつき7以下		種 類	呼び名	仕上りの形状等	・ 薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材 S i ・ 可とう形外装薄塗材 S i	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 砂壁状 ・ ゆず肌状	・ 外装薄塗材 E	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状		・ 内装薄塗材 E	・ 砂壁状じゅらく ・ ゆず肌状		・ 可とう形外装薄塗材 E	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状		・ 防水形外装薄塗材 E	・ ゆず肌状 ・ さざ波形 ・ 凹凸状		・ 外装薄塗材 S	・ 砂壁状		・ 内装薄塗材 C	・ 凹凸上 ・ ゆず肌状		・ 内装薄塗材 L	・ 凹凸上 ・ ゆず肌状		・ 内装薄塗材 S i	・ 砂壁状じゅらく ・ ゆず肌状		・ 内装薄塗材 W	・ 京壁状じゅらく		・ 複層仕上塗材	・ 複層塗材 C E ・ 可とう形複層塗材 C E ・ 複層塗材 S i ・ 複層塗材 E ※複層塗材 R E ・ 防水形複層塗材 C E ・ 防水形複層塗材 E ・ 防水形複層塗材 R E	・ ゆず肌状 ・ 凸凹処理 ※凹凸模様 耐水性 ※3種 ・ 上塗材 溶媒 ※水系 ・ 溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・ つやなし ・ メタリック	・ 軽量骨材仕上塗材	・ 吹付用軽量塗材 ・ こて用軽量塗材	・ 砂壁状 ・ 平たん状	16	1 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.1) (表14.2.1) <table border="1"> <tr> <th>種 別</th><th>施工箇所</th></tr> <tr> <td>・ B B ー 1 種（無着色） ・ B B ー 2 種（ ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー）</td><td></td></tr> </table> 2 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2) (表14.2.2) <table border="1"> <tr> <th>表面処理方法</th><th>種 別</th><th>施工箇所</th></tr> <tr> <td>溶融亜鉛めっき</td><td>・ A 種 ・ B 種 ・ C 種</td><td></td></tr> <tr> <td>電気亜鉛めっき</td><td>・ D 種 ・ E 種 ・ F 種</td><td></td></tr> </table> 3 金属成形板張り (14.6.2) (表14.2.1) <table border="1"> <tr> <th>形 状</th><th>製 法</th><th>材 種</th><th>寸法（mm）</th><th>厚さ（mm）</th><th>表面処理</th></tr> <tr> <td>・ スパンドレル形</td><td>・ 押出し ・ ロール</td><td>※アルミニウム製</td><td></td><td></td><td>・ B B ー 1 種 ・ B B ー 2 種（ ）</td></tr> <tr> <td>・ パネル形</td><td>※プレス</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 伸縮調整継手 ※設けない ・ 設ける（施工箇所は図示） 4 アルミニウム製窓木 (14.7.2) (表14.2.1) (表14.7.1) <table border="1"> <tr> <th>種 類</th><th>呼称肉厚（mm）</th><th>表面処理</th><th>固定間隔</th><th>備 考</th></tr> <tr> <td>・ 250形</td><td>1.6以上</td><td>※ B A ー 1 又は B B ー 1 種</td><td>固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの</td><td>隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による。</td></tr> <tr> <td>・ 300形</td><td>1.8以上</td><td></td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・ 350形</td><td>2.0以上</td><td>・ B B ー 2 種（ ）</td><td></td><td></td></tr> <tr> <td>・ 100形</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table> 5 ステンレスの表面仕上げ <table border="1"> <tr> <th>種 類</th><th>施工箇所</th></tr> <tr> <td>※ H L 程度</td><td>下記以外の見え掛かり全て</td></tr> <tr> <td>・ No. 2 B 程度</td><td></td></tr> <tr> <td>・ 鏡面仕上げ</td><td></td></tr> </table>	種 別	施工箇所	・ B B ー 1 種（無着色） ・ B B ー 2 種（ ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー）		表面処理方法	種 別	施工箇所	溶融亜鉛めっき	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種		電気亜鉛めっき	・ D 種 ・ E 種 ・ F 種		形 状	製 法	材 種	寸法（mm）	厚さ（mm）	表面処理	・ スパンドレル形	・ 押出し ・ ロール	※アルミニウム製			・ B B ー 1 種 ・ B B ー 2 種（ ）	・ パネル形	※プレス					種 類	呼称肉厚（mm）	表面処理	固定間隔	備 考	・ 250形	1.6以上	※ B A ー 1 又は B B ー 1 種	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による。	・ 300形	1.8以上				・ 350形	2.0以上	・ B B ー 2 種（ ）			・ 100形					種 類	施工箇所	※ H L 程度	下記以外の見え掛かり全て	・ No. 2 B 程度		・ 鏡面仕上げ		17	2 鉄骨の亜鉛めっき (14.2.2) (表14.2.2) <table border="1"> <tr> <th>表面処理方法</th><th>種 別</th><th>施工箇所</th></tr> <tr> <td>溶融亜鉛めっき</td><td>・ A 種 ・ B 種 ・ C 種</td><td></td></tr> <tr> <td>電気亜鉛めっき</td><td>・ D 種 ・ E 種 ・ F 種</td><td></td></tr> </table> 3 金属成形板張り (14.6.2) (表14.2.1) <table border="1"> <tr> <th>形 状</th><th>製 法</th><th>材 種</th><th>寸法（mm）</th><th>厚さ（mm）</th><th>表面</th></tr></table>	表面処理方法	種 別	施工箇所	溶融亜鉛めっき	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種		電気亜鉛めっき	・ D 種 ・ E 種 ・ F 種		形 状	製 法	材 種	寸法（mm）	厚さ（mm）	表面
品 名	規格・品質	芯材の種類	化粧単板の樹種																																																																																																																																																																																																						
※集成材	※一般材	・たも ・なら ・しおじ																																																																																																																																																																																																							
※構造用集成材	・1種 ※2種 ・3種	・																																																																																																																																																																																																							
※造作用集成材	※1等 ・2等	・																																																																																																																																																																																																							
・化粧ばり造作用集成材	※1等 ・2等	・																																																																																																																																																																																																							
フロアリング及び縁甲板張り床	(12.6.1) (表12.6.1)																																																																																																																																																																																																								
下張り用床板	<table border="1"> <tr> <td>※無し</td><td>※合板張り</td><td>ホルムアルデヒドの放数量 ※規制対象外 ・ 第三種</td></tr> <tr> <td>・ 有り</td><td>・ 板張り</td><td></td></tr> </table>	※無し	※合板張り	ホルムアルデヒドの放数量 ※規制対象外 ・ 第三種	・ 有り	・ 板張り																																																																																																																																																																																																			
※無し	※合板張り	ホルムアルデヒドの放数量 ※規制対象外 ・ 第三種																																																																																																																																																																																																							
・ 有り	・ 板張り																																																																																																																																																																																																								
床板	<table border="1"> <tr> <td>※単層フロアリング (標仕19.5.2tによる)</td><td>ホルムアルデヒドの放数量 ※規制対象外 ・ 第三種 ※ひのき ・</td></tr> <tr> <td>・ 縁甲板</td><td></td></tr> </table>	※単層フロアリング (標仕19.5.2tによる)	ホルムアルデヒドの放数量 ※規制対象外 ・ 第三種 ※ひのき ・	・ 縁甲板																																																																																																																																																																																																					
※単層フロアリング (標仕19.5.2tによる)	ホルムアルデヒドの放数量 ※規制対象外 ・ 第三種 ※ひのき ・																																																																																																																																																																																																								
・ 縁甲板																																																																																																																																																																																																									
全固形分（％）	吸水量（g）	接着強度（N/mm ² ）	界面破壊率（％）																																																																																																																																																																																																						
表示値±1.0以内	30分で1g以下	1.00以上	50以下																																																																																																																																																																																																						
混合割合	凝結時間	曲げ及び圧縮強度比	吸水比	透水比																																																																																																																																																																																																					
セメント重量の5%以下	JIS R 5201の試験において 地盤 1時間以上 終結 10時間以内	70%以上	95%以下	80%以下																																																																																																																																																																																																					
施工箇所	平たんさ（mm）	備 考																																																																																																																																																																																																							
	1mにつき10以下																																																																																																																																																																																																								
	3mにつき7以下																																																																																																																																																																																																								
種 類	呼び名	仕上りの形状等																																																																																																																																																																																																							
・ 薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材 S i ・ 可とう形外装薄塗材 S i	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ 砂壁状 ・ ゆず肌状																																																																																																																																																																																																							
・ 外装薄塗材 E	・ 砂壁状 ・ 着色骨材砂壁状																																																																																																																																																																																																								
・ 内装薄塗材 E	・ 砂壁状じゅらく ・ ゆず肌状																																																																																																																																																																																																								
・ 可とう形外装薄塗材 E	・ 砂壁状 ・ ゆず肌状 ・ さざ波状																																																																																																																																																																																																								
・ 防水形外装薄塗材 E	・ ゆず肌状 ・ さざ波形 ・ 凹凸状																																																																																																																																																																																																								
・ 外装薄塗材 S	・ 砂壁状																																																																																																																																																																																																								
・ 内装薄塗材 C	・ 凹凸上 ・ ゆず肌状																																																																																																																																																																																																								
・ 内装薄塗材 L	・ 凹凸上 ・ ゆず肌状																																																																																																																																																																																																								
・ 内装薄塗材 S i	・ 砂壁状じゅらく ・ ゆず肌状																																																																																																																																																																																																								
・ 内装薄塗材 W	・ 京壁状じゅらく																																																																																																																																																																																																								
・ 複層仕上塗材	・ 複層塗材 C E ・ 可とう形複層塗材 C E ・ 複層塗材 S i ・ 複層塗材 E ※複層塗材 R E ・ 防水形複層塗材 C E ・ 防水形複層塗材 E ・ 防水形複層塗材 R E	・ ゆず肌状 ・ 凸凹処理 ※凹凸模様 耐水性 ※3種 ・ 上塗材 溶媒 ※水系 ・ 溶剤系 樹脂 ※アクリル系 外観 ※つやあり ・ つやなし ・ メタリック																																																																																																																																																																																																							
・ 軽量骨材仕上塗材	・ 吹付用軽量塗材 ・ こて用軽量塗材	・ 砂壁状 ・ 平たん状																																																																																																																																																																																																							
種 別	施工箇所																																																																																																																																																																																																								
・ B B ー 1 種（無着色） ・ B B ー 2 種（ ・ ブラウン系 ・ ブラック ・ ステンカラー）																																																																																																																																																																																																									
表面処理方法	種 別	施工箇所																																																																																																																																																																																																							
溶融亜鉛めっき	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種																																																																																																																																																																																																								
電気亜鉛めっき	・ D 種 ・ E 種 ・ F 種																																																																																																																																																																																																								
形 状	製 法	材 種	寸法（mm）	厚さ（mm）	表面処理																																																																																																																																																																																																				
・ スパンドレル形	・ 押出し ・ ロール	※アルミニウム製			・ B B ー 1 種 ・ B B ー 2 種（ ）																																																																																																																																																																																																				
・ パネル形	※プレス																																																																																																																																																																																																								
種 類	呼称肉厚（mm）	表面処理	固定間隔	備 考																																																																																																																																																																																																					
・ 250形	1.6以上	※ B A ー 1 又は B B ー 1 種	固定方法及び間隔は品質計画で定めたもの	隅角部及び突当たり部等の役物は本体製造所の仕様による。																																																																																																																																																																																																					
・ 300形	1.8以上																																																																																																																																																																																																								
・ 350形	2.0以上	・ B B ー 2 種（ ）																																																																																																																																																																																																							
・ 100形																																																																																																																																																																																																									
種 類	施工箇所																																																																																																																																																																																																								
※ H L 程度	下記以外の見え掛かり全て																																																																																																																																																																																																								
・ No. 2 B 程度																																																																																																																																																																																																									
・ 鏡面仕上げ																																																																																																																																																																																																									
表面処理方法	種 別	施工箇所																																																																																																																																																																																																							
溶融亜鉛めっき	・ A 種 ・ B 種 ・ C 種																																																																																																																																																																																																								
電気亜鉛めっき	・ D 種 ・ E 種 ・ F 種																																																																																																																																																																																																								
形 状	製 法	材 種	寸法（mm）	厚さ（mm）	表面																																																																																																																																																																																																				

特 記 仕 様 書	
工 事 名 称	甲西市民総合グラウンド管理棟他改築工事
工 事 場 所	山梨県南アルプス市宮沢 地内
一 般 事 項	1. 本工事は全て、図面・本仕様書及び、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（最新版）」に基づき、諸官庁関係法規に準拠して施工する。 2. 本工事に於て、図面・特記仕様書に疑義が生じた場合、及びそれに明記なきものでも技術上当然必要なものは、監督員と協議の上、誠実に施工するものとする。 3. 本設計図に基づき請負人は充分なる理解の上、工事の着工に先立ち、工程表・その他書類を提出し、監督員の承諾を得る事。（南アルプス市 請負工事 事務処理要領書 最新版参照） 4. 工事着手前に担当課と十分に打合せを行い、無理のない工事計画とする。図面及び内訳書内容にかかわらず、工事中の安全確保を十分にはかること。 5. 別途発注土木工事と工程管理等について十分に打合せを行い、関連部の調整をはかり現場運営にあたること。



建築場所（甲西市民総合グラウンド）

付近見取図 NO SCALE

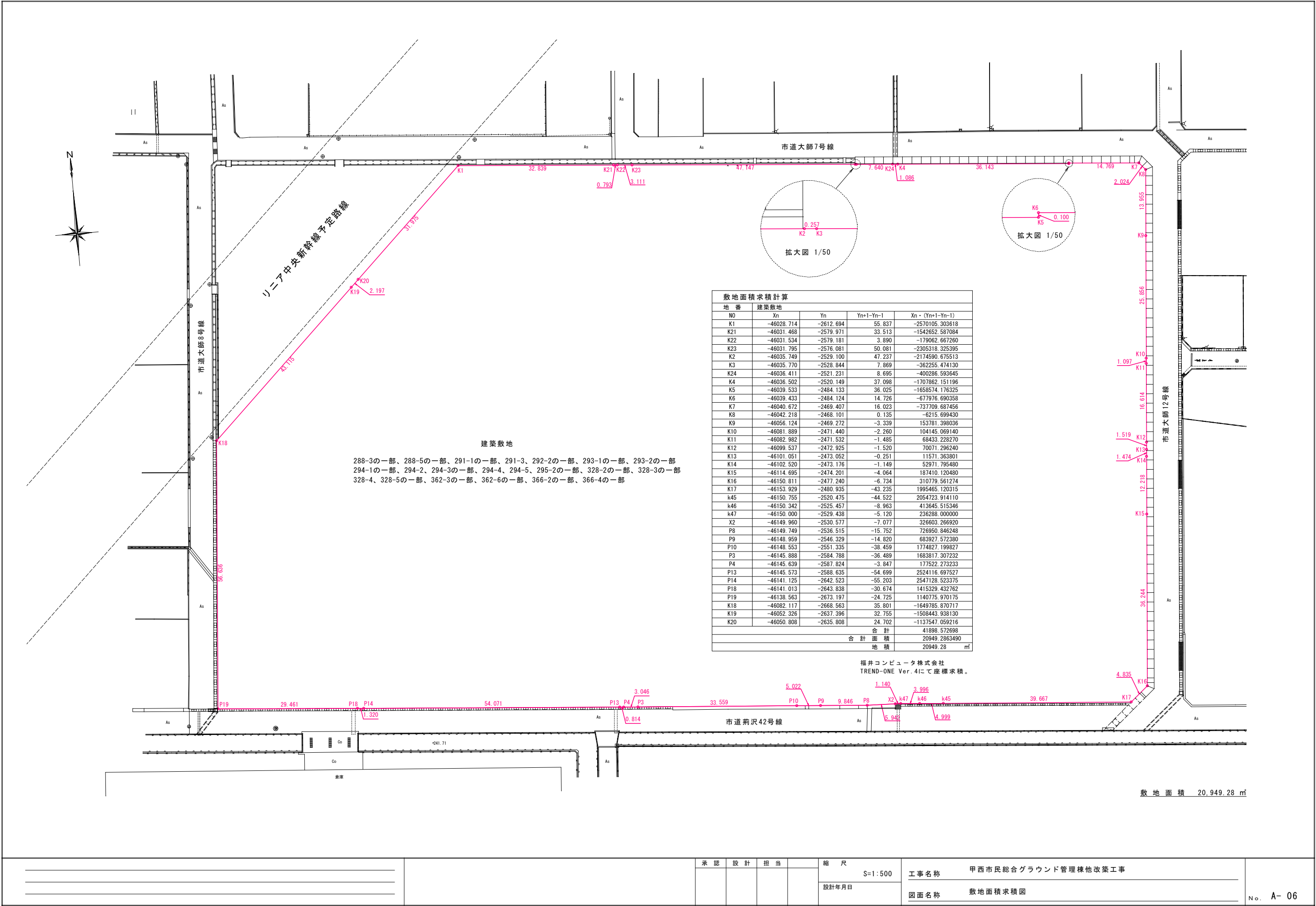
面 積 表			
	申請建物	既存建物 計	合 計
敷 地 面 積			20,949.28 m ²
建 築 面 積	274.72 m ²	3.10 m ²	277.82 m ²
延 床 面 積	274.72 m ²	3.10 m ²	277.82 m ²
建 蔽 率			1.33 %
容 積 率			1.33 %

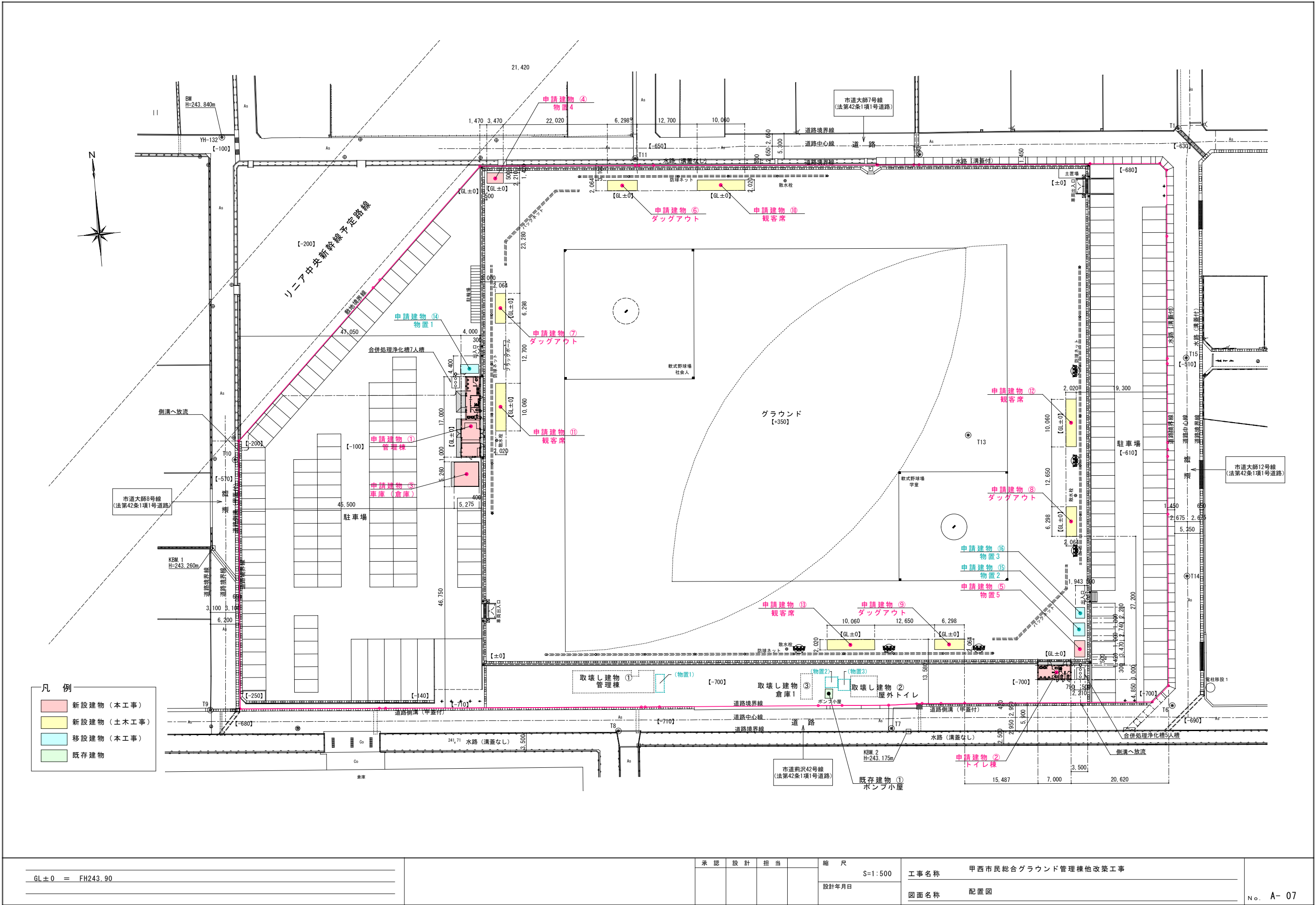
申請建物 一覧表							
符号	建物名称	工事種別	構造・規模	耐火仕様	最高高さ	建築面積	延床面積
《 本工事 》							
①	管理棟	新設	鉄骨造平屋	その他	3.450 m	59.00 m ²	59.00 m ²
②	トイレ棟	新設	鉄骨造平屋	その他	3.400 m	21.00 m ²	21.00 m ²
③	車庫（倉庫）	新設	鉄骨造平屋	その他	2.860 m	27.74 m ²	27.74 m ²
④	物置4	新設	鉄骨造平屋	その他	2.175 m	7.66 m ²	7.66 m ²
⑤	物置5	新設	鉄骨造平屋	その他	2.175 m	7.66 m ²	7.66 m ²
(上計)						(123.06 m ²)	(123.06 m ²)
《 土木工事 》別途工事							
⑥	ダッグアウト	新設	鉄骨造平屋	その他	2.240 m	12.99 m ²	12.99 m ²
⑦	ダッグアウト	新設	鉄骨造平屋	その他	2.240 m	12.99 m ²	12.99 m ²
⑧	ダッグアウト	新設	鉄骨造平屋	その他	2.240 m	12.99 m ²	12.99 m ²
⑨	ダッグアウト	新設	鉄骨造平屋	その他	2.240 m	12.99 m ²	12.99 m ²
⑩	観客席	新設	鉄骨造平屋	その他	2.302 m	20.32 m ²	20.32 m ²
⑪	観客席	新設	鉄骨造平屋	その他	2.302 m	20.32 m ²	20.32 m ²
⑫	観客席	新設	鉄骨造平屋	その他	2.302 m	20.32 m ²	20.32 m ²
⑬	観客席	新設	鉄骨造平屋	その他	2.302 m	20.32 m ²	20.32 m ²
(上計)						(133.24 m ²)	(133.24 m ²)
新設建物 計						256.30 m ²	256.30 m ²
《 本工事 》							
⑭	物置1	移設	鉄骨造平屋	その他	2.000 m	7.31 m ²	7.31 m ²
⑮	物置2	移設	鉄骨造平屋	その他	2.380 m	6.68 m ²	6.68 m ²
⑯	物置3	移設	鉄骨造平屋	その他	2.110 m	4.43 m ²	4.43 m ²
移設建物 計						18.42 m ²	18.42 m ²
申請建物 計						274.72 m ²	274.72 m ²

既存建物 一覧表							
符号	建物名称	工事種別	構造・規模	耐火仕様	最高高さ	建築面積	延床面積
①	ポンプ棟	—	鉄骨造平屋	その他	2.000 m	3.10 m ²	3.10 m ²
既存建物 計						3.10 m ²	3.10 m ²

凡 例	
	新設建物（本工事）
	新設建物（土木工事）
	移設建物（本工事）
	既存建物

		承認		設計	担当	縮 尺 NO SCALE	工事名称 甲西市民総合グラウンド管理棟他改築工事	図面名称 付近見取り図・面積表	No. A- 05





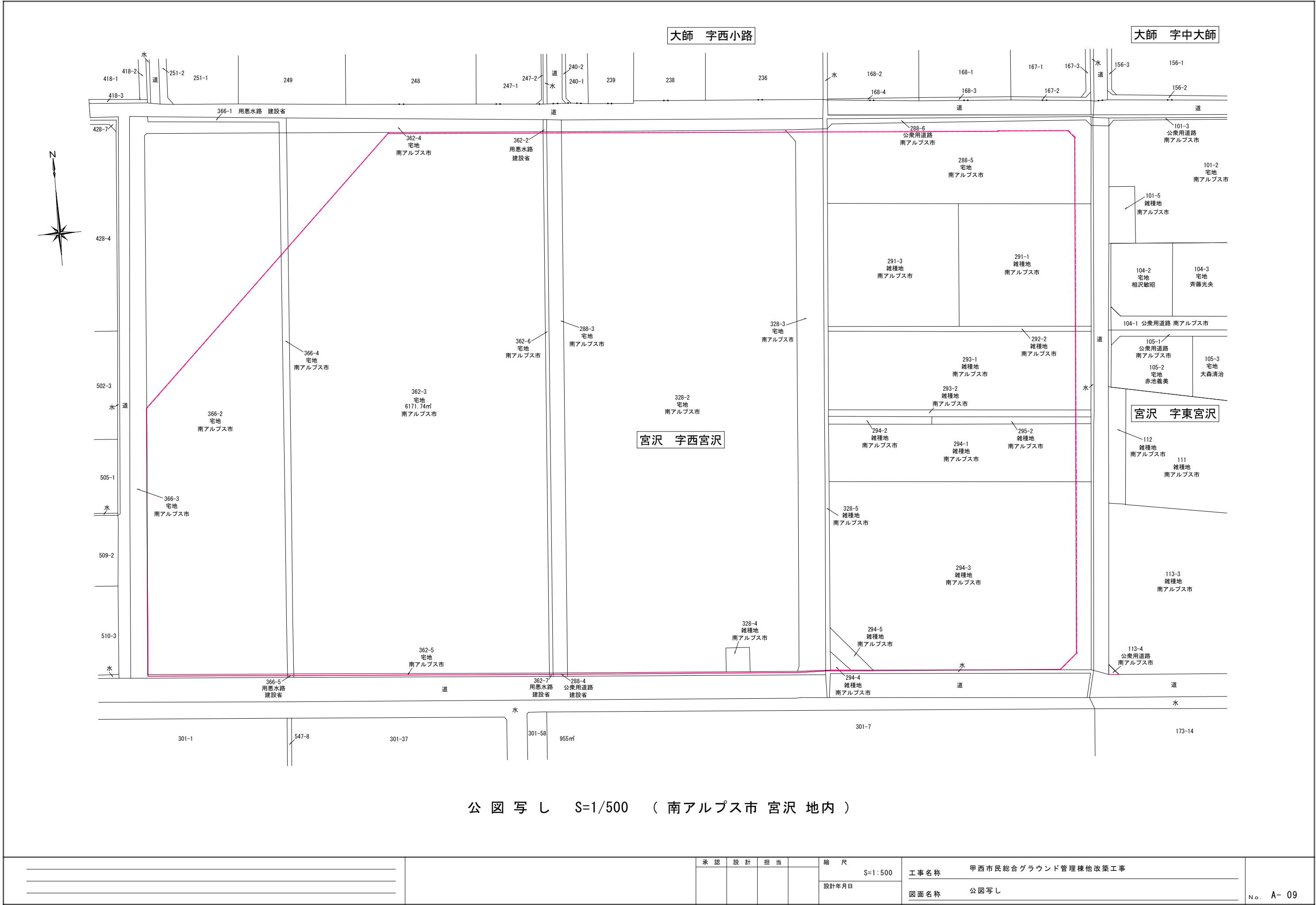
- 凡 例
- 新設建物（本工事）
 - 新設建物（土木工事）
 - 移設建物（本工事）
 - 既存建物

GL±0 = FH243.90

承認	設計	担当

縮 尺
S=1:500
設計年月日

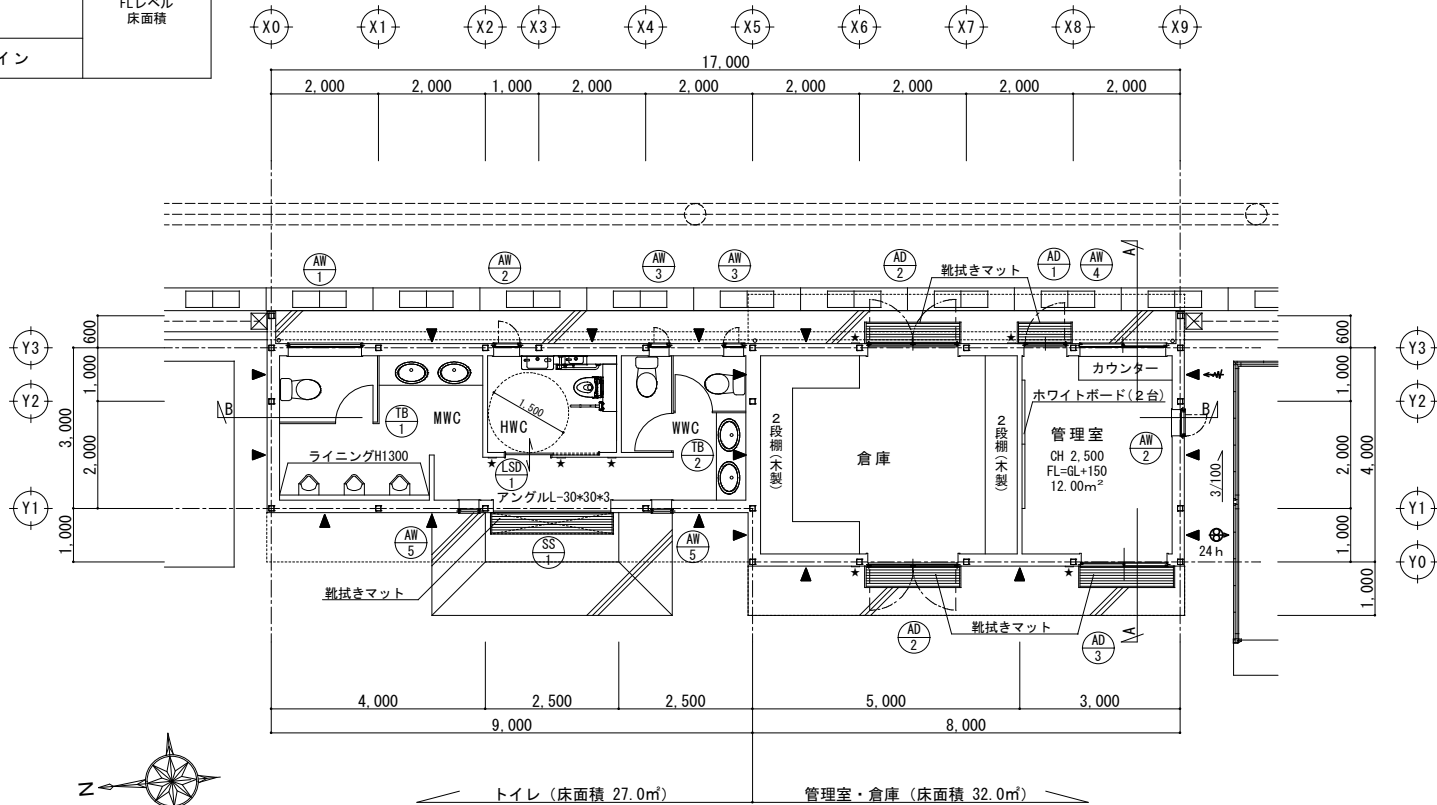
工事名称 甲西市民総合グラウンド管理棟他改築工事
図面名称 配置図



<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>				承 認	設 計	担 当	縮 尺	工 事 名 称 甲西市民総合グラウンド管理棟他改築工事	図 面 名 称 公図写し	No. A- 09
							S=1:500 設計年月日			

凡 例

▲	ブレース	室名 天井高さ FLレベル 床面積
Φ	パイプ用ファン (24hは24時間換気)	
↓	給気口	
★	ピクトサイン	



平面図 S=1/100

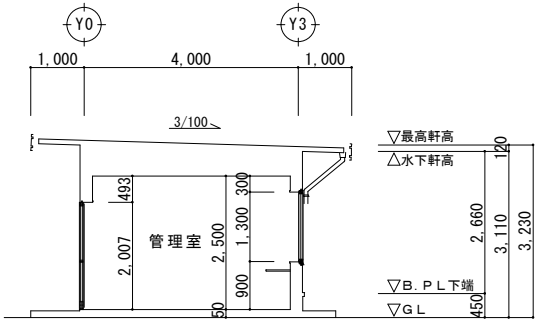
求積計算：8.00×4.00 + 9.00×3.00 = 59.00
《 床面積 59.00 m² 》

外部仕上げ表

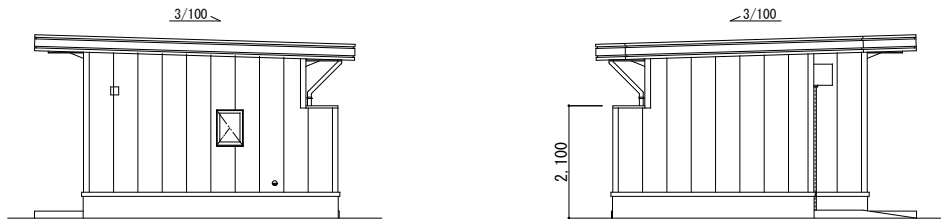
屋 根	ルーフデッキ(ハゼ式) t=0.6 H=90 裏ボリ貼t=4.0 屋根勾配3/100片流れ
軒 天	ルーフデッキ裏表し
外 壁	窯業系サイディング 縦張り 鉄骨銅緑下地
建 具	アルミサッシ、軽量手動シャッター
雨 樋	縦樋：塩ビ製 VU75Φ 軒樋：塩ビ製
破 風 板	カラー鋼板 H300
備 考	管理室 断熱材：GW t=50 24kg品 外周壁・天井裏 敷込み、出入り口前：靴拭きマット(ステン製) ピクトサイン(7カ所)：アルミプレート 150×150 カットニングシート

内部仕上げ表

室名	床	巾木	壁	天井	廻縁	天井高さ	備考
管理室	土間コンクリート t=120 ワイヤメッシュ 6φ 150□ 防湿シート t=0.15 砕石 t=100	ソフト巾木 H60	化粧GVL板 t=6 P.B t=12.5 LGS下地	化粧P.B t=9.5 LGS下地	塩ビ製	2,500	カウンター：メラミン化粧板 D500 ホワイトボード(H900×W1200)
倉庫	同上	同上	同上	化粧GVL板 t=6 P.B t=12.5 LGS下地	同上	2,500	2段棚：木製
WWC	同上	基礎現し H300	同上	同上	同上	2,500	トイレ・テッシュ、手洗い器2台、 大便器2台、紙巻器2台
HWC	同上	同上	同上	同上	同上	2,500	多目的トイレ
MWC	同上	同上	同上	同上	同上	2,500	トイレ・テッシュ、手洗い器2台、 大便器1台、小便器3台 ライニングH1300

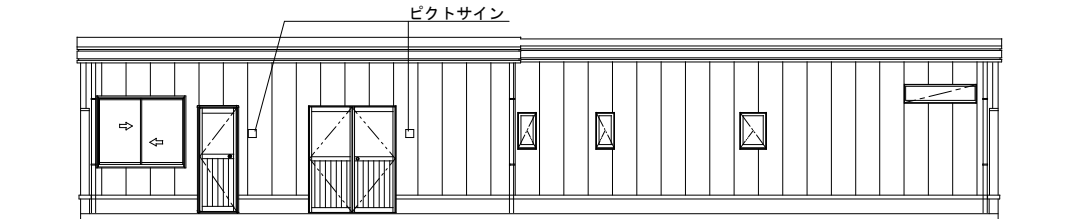


A-A 断面図 S=1/100



南側 立面図 S=1/100

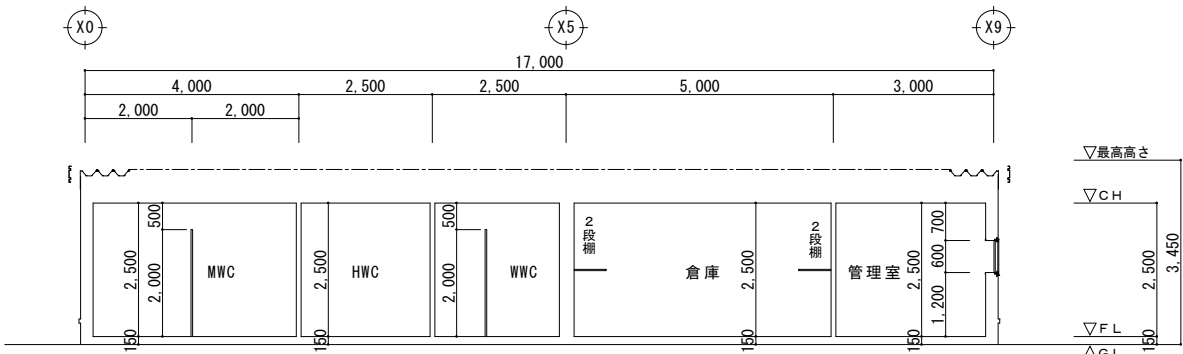
北側 立面図 S=1/100



東側 立面図 S=1/100



西側 立面図 S=1/100

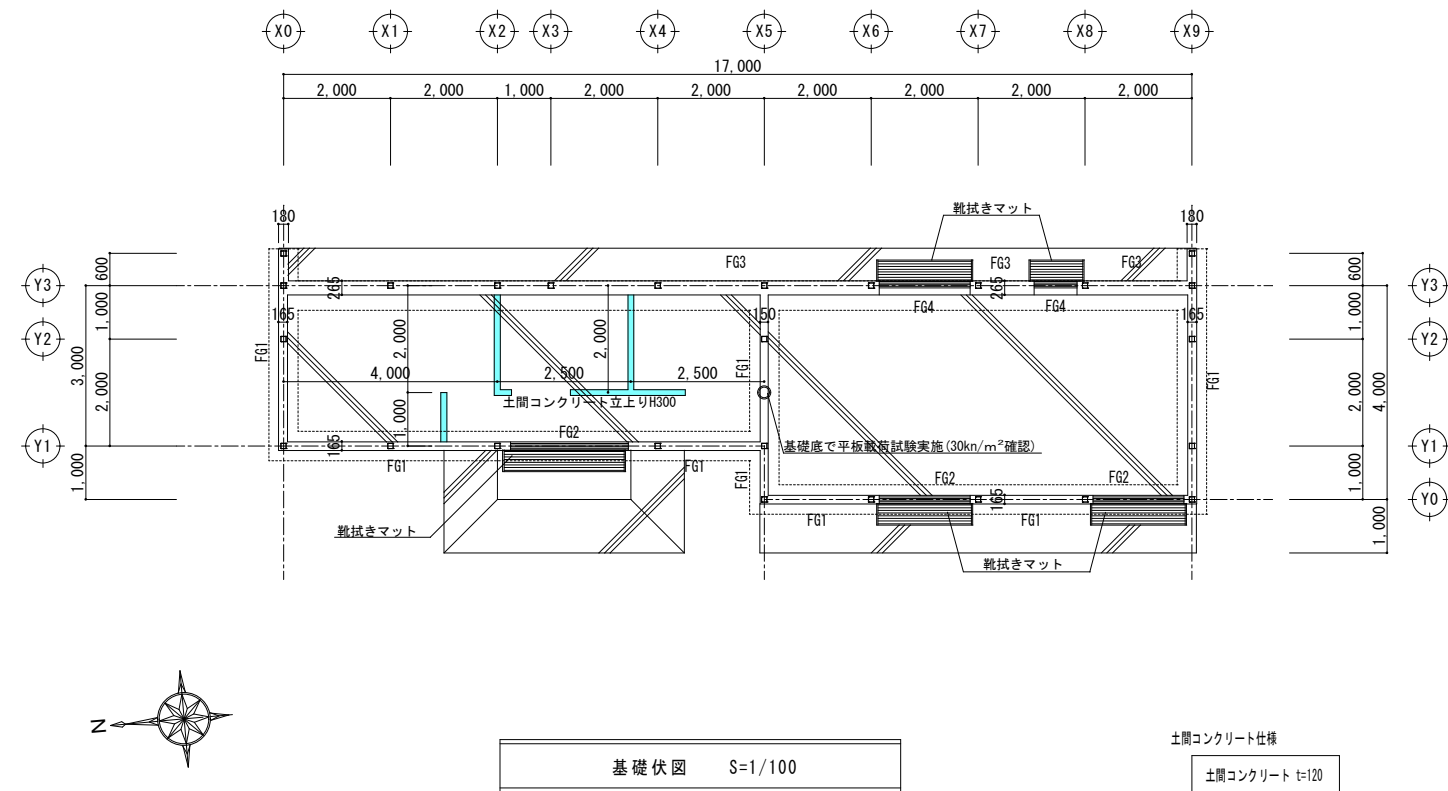


B-B 断面図 S=1/100

承認	設計	担当	

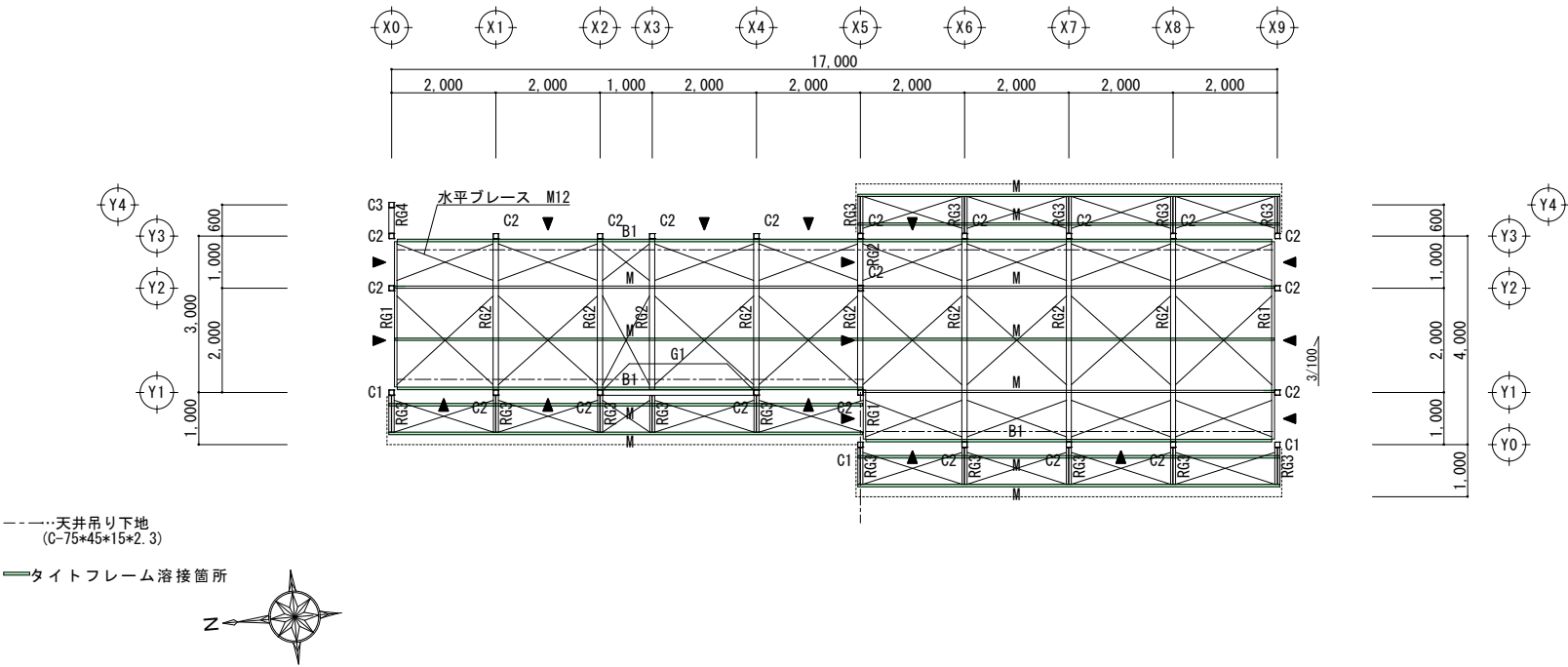
縮 尺
S=1:100
設計年月日

工事名称 甲西市民総合グラウンド管理棟他改築工事
図面名称 管理棟：仕上表・平面図・立面図・断面図



- 土間コンクリート仕様
- 土間コンクリート t=120
 - ワイヤメッシュ 6φ 150□
 - 防湿シート t=0.15
 - 砕石 t=100

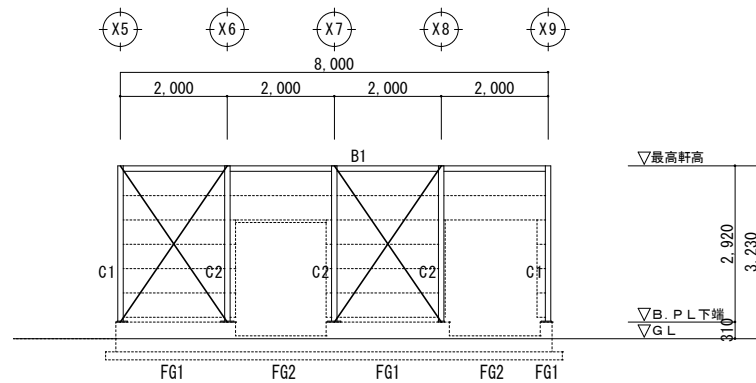
基礎リスト S=1/20					
符 号	FG1	FG2	FG3	FG4	土間コンクリート立上り
形 状	※ 化粧目地は構造上の立上り巾に含まないものとする。	※ 化粧目地は構造上の立上り巾に含まないものとする。	※ 化粧目地は構造上の立上り巾に含まないものとする。	※ 化粧目地は構造上の立上り巾に含まないものとする。	



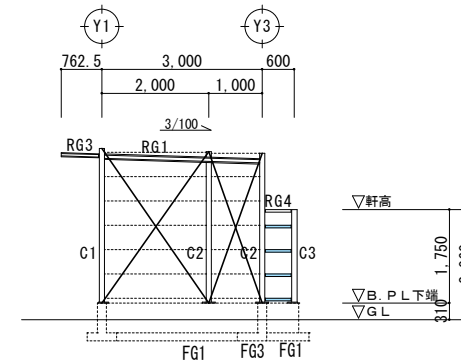
小屋伏図 S=1/100

部材リスト S=1/20

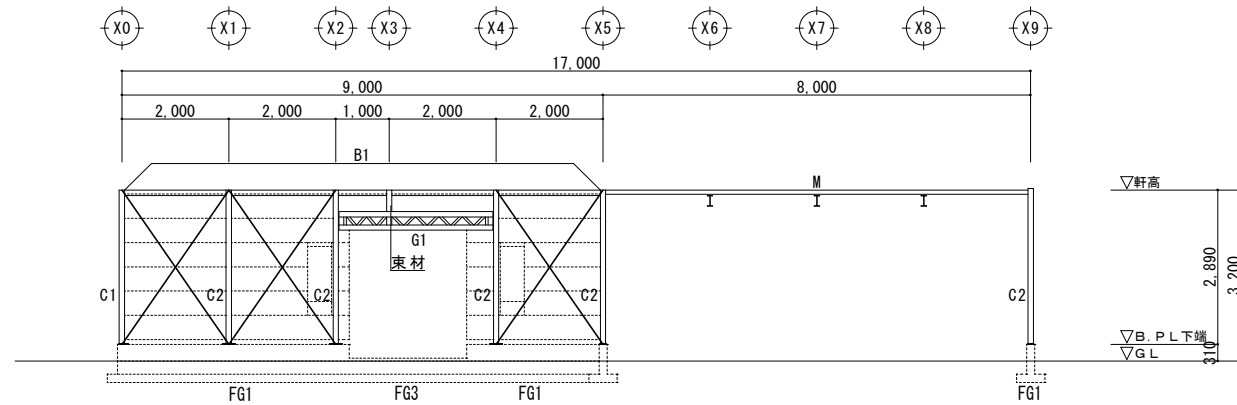
符 号	C1	C2	C3	RG1	RG2	RG3	RG4	束材
形 状								
主 材	□P-100*100*2.3 B.PL-16.0 (SS400) A.BOLT 2-M16 (SS400) L=320(定着長さ)	□P-100*100*2.3 B.PL-16.0 (SS400) A.BOLT 2-M16 (SS400) L=320(定着長さ)	□P-100*100*2.3 B.PL-16.0 (SS400) A.BOLT 2-M12 (SS400) L=240(定着長さ)	C-100*50*20*2.3 PL-4.5 BOLT 2-M12	H-200*100*5.5*8.0 G.PL-6.0 BOLT 2-M12	2C-75*45*15*2.3 PL-4.5 BOLT 2-M12	C-100*50*20*2.3 PL-4.5 BOLT 1-M12	□P-100*100*2.3 溶接又はボルト接合
符 号	B1	M	屋 根	一般部 胴縁	袖壁部 胴縁	水 平 プ レ ス	壁 プ レ ス	G1
形 状								
主 材	C-100*50*20*2.3 PL-4.5 BOLT 2-M12	C-75*45*15*2.3 PL-4.5 BOLT 1-M12	ルーフデッキ ハゼ式 t=0.6 H=90 裏ボリ貼 t=4 屋根勾配 3/100 片流れ	C-75*45*15*2.3@455以下 PL-4.5 BOLT 1-M12	C-100*50*20*2.3@455以下 PL-4.5 BOLT 1-M12	R階梁面: M12 水平プレ-2M12 羽子板 t=6.0 HTB 1-M16 G.PL-6.0	M14 壁プレ-2M14 羽子板 t=6.0 HTB 1-M16 G.PL-6.0	上下弦材: □P-100*100*2.3 ラチス材: C-100*50*20*2.3 G.PL-6.0 BOLT 2-M16



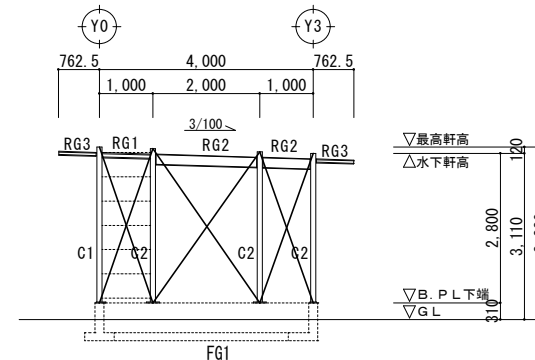
Y0通り 軸組図 S=1/100



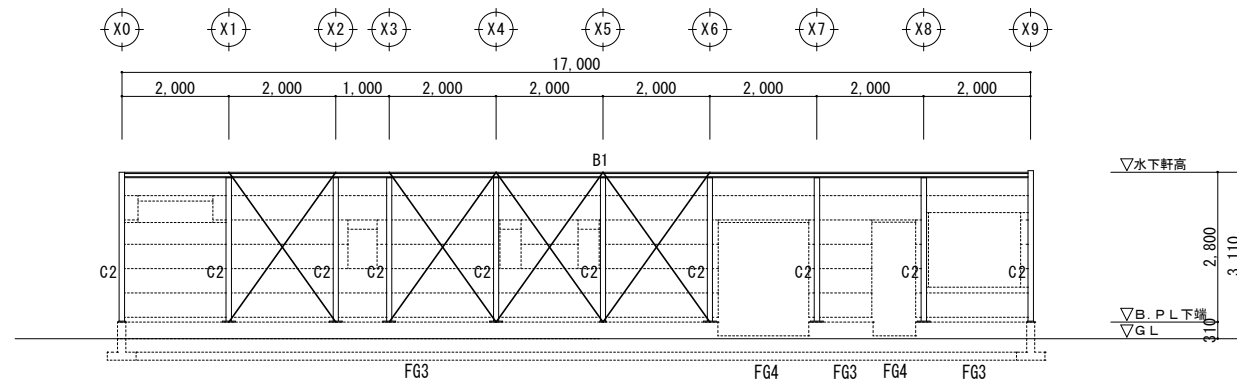
X0通り 軸組図 S=1/100



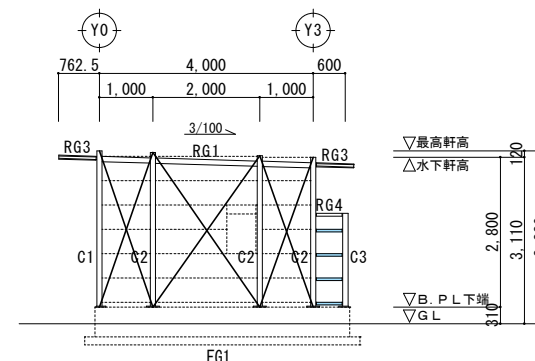
Y1通り 軸組図 S=1/100



X5通り 軸組図 S=1/100



Y3通り 軸組図 S=1/100



X9通り 軸組図 S=1/100

.....一般部 胴縁
C-75*45*15*2.3@455以下

——袖壁部 胴縁
C-100*50*20*2.3@455以下

承認 設計 担当

縮尺

S=1:100

設計年月日

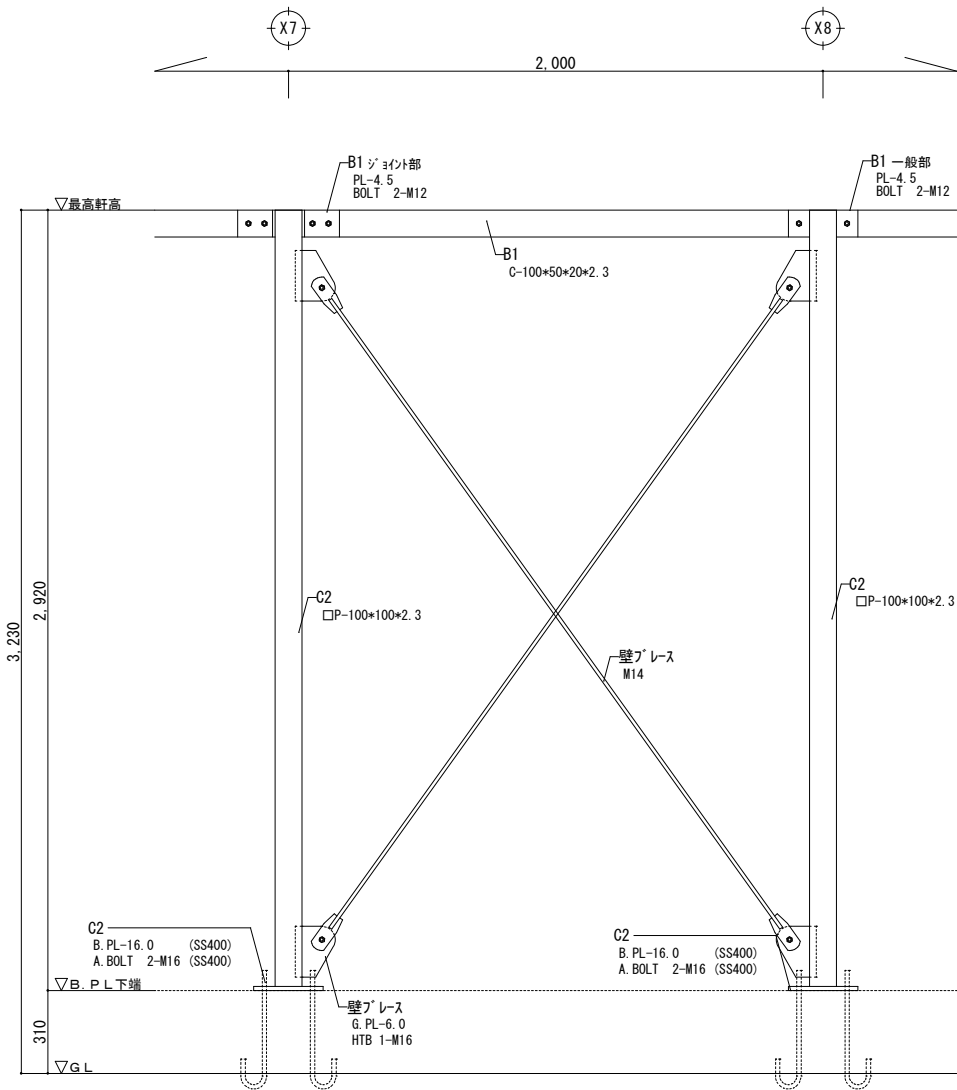
工事名称

甲西市民総合グラウンド管理棟他改築工事

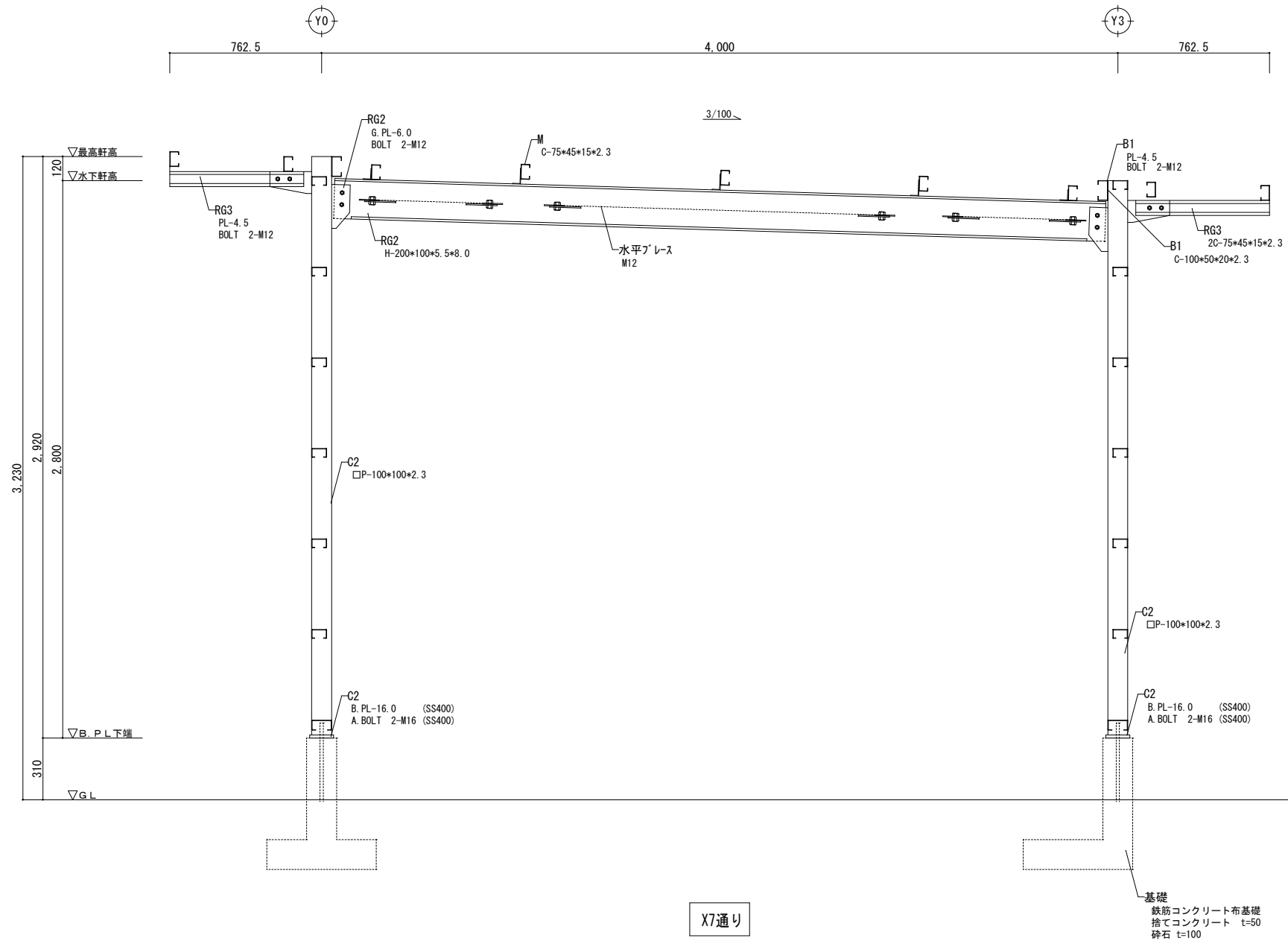
図面名称

管理棟：軸組図

No. A- 14



Y0通り

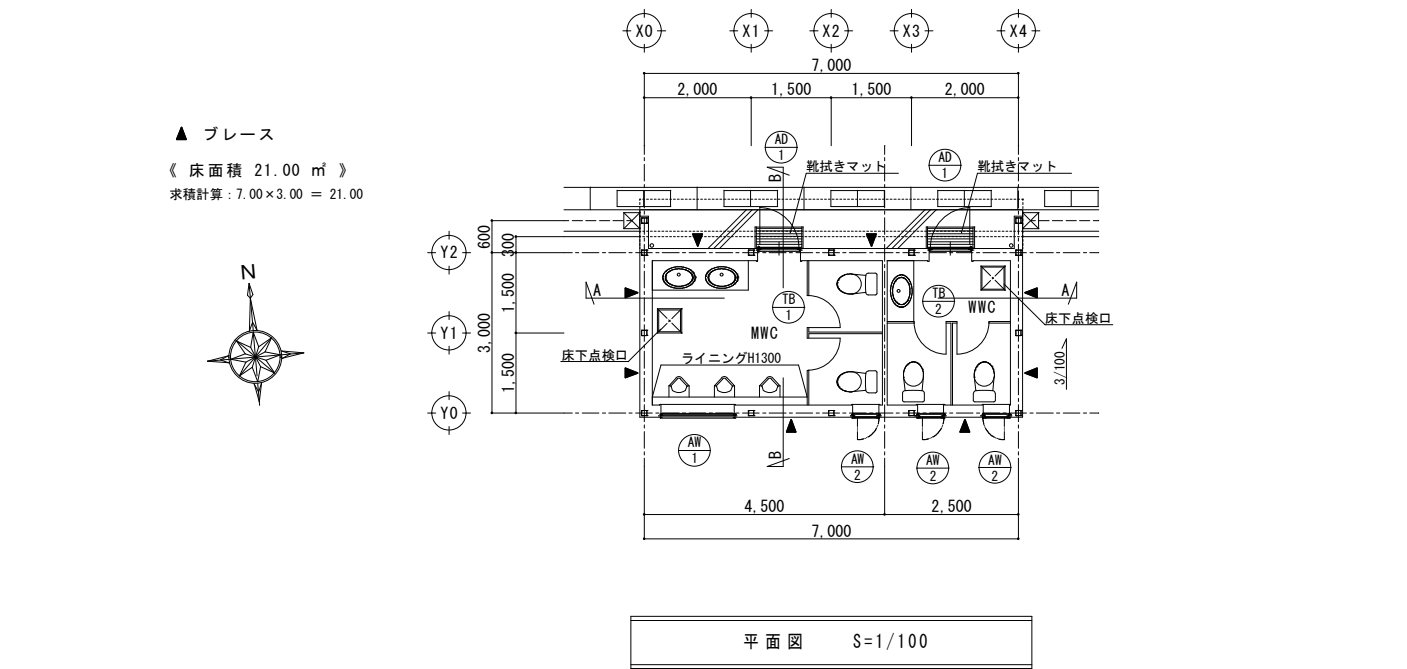


X7通り

基礎
鉄筋コンクリート布基礎
捨てコンクリート t=50
碎石 t=100

矩 計 図 S=1/20

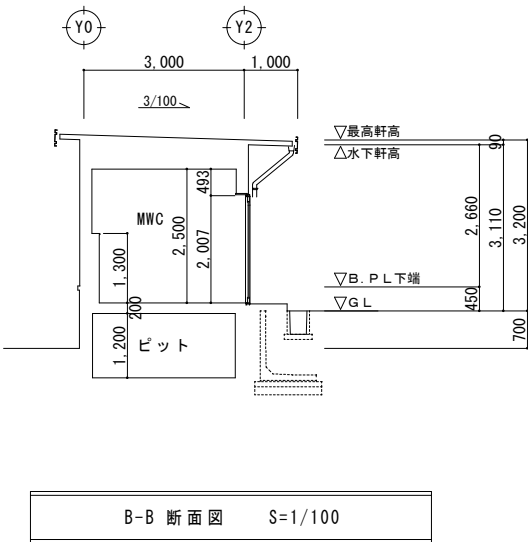
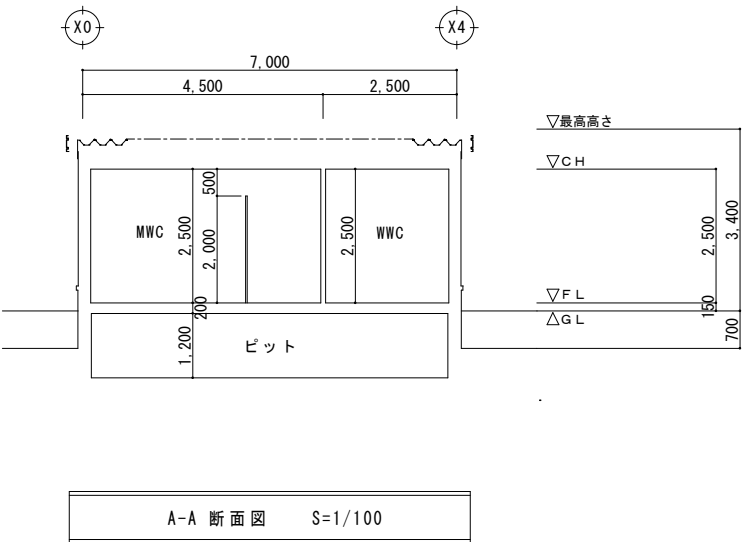
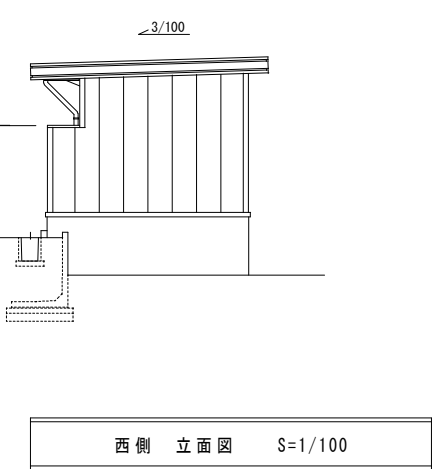
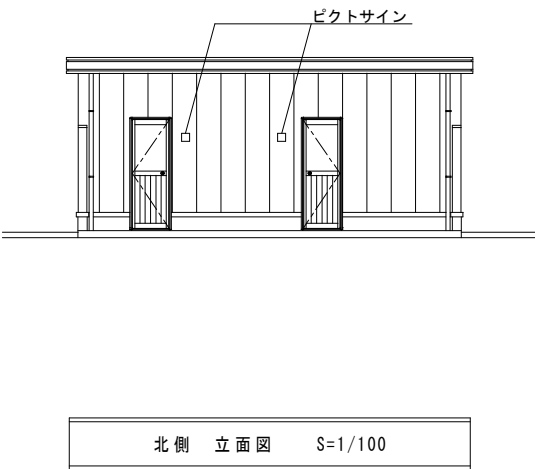
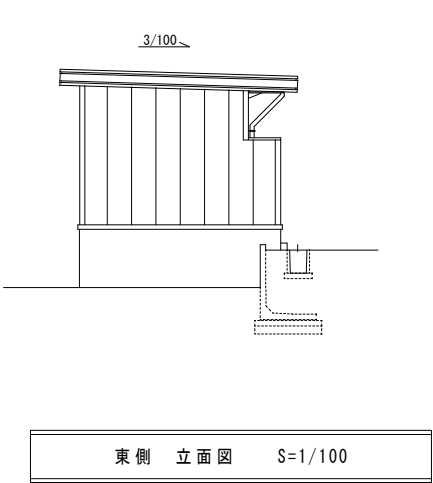
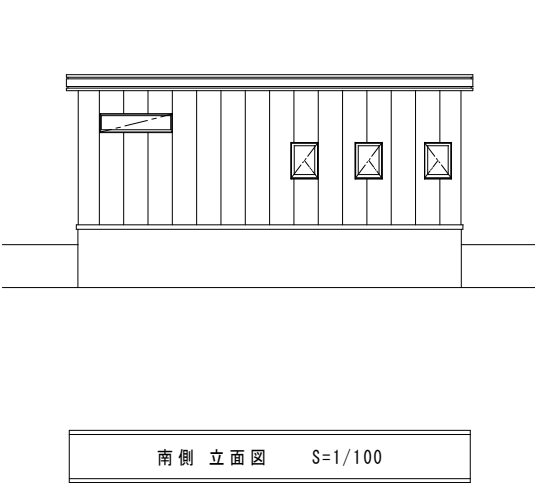
						縮 尺	甲西市民総合グラウンド管理棟他改築工事		No. A- 15
							工事名称		
							図面名称	管理棟：鉄骨詳細図	

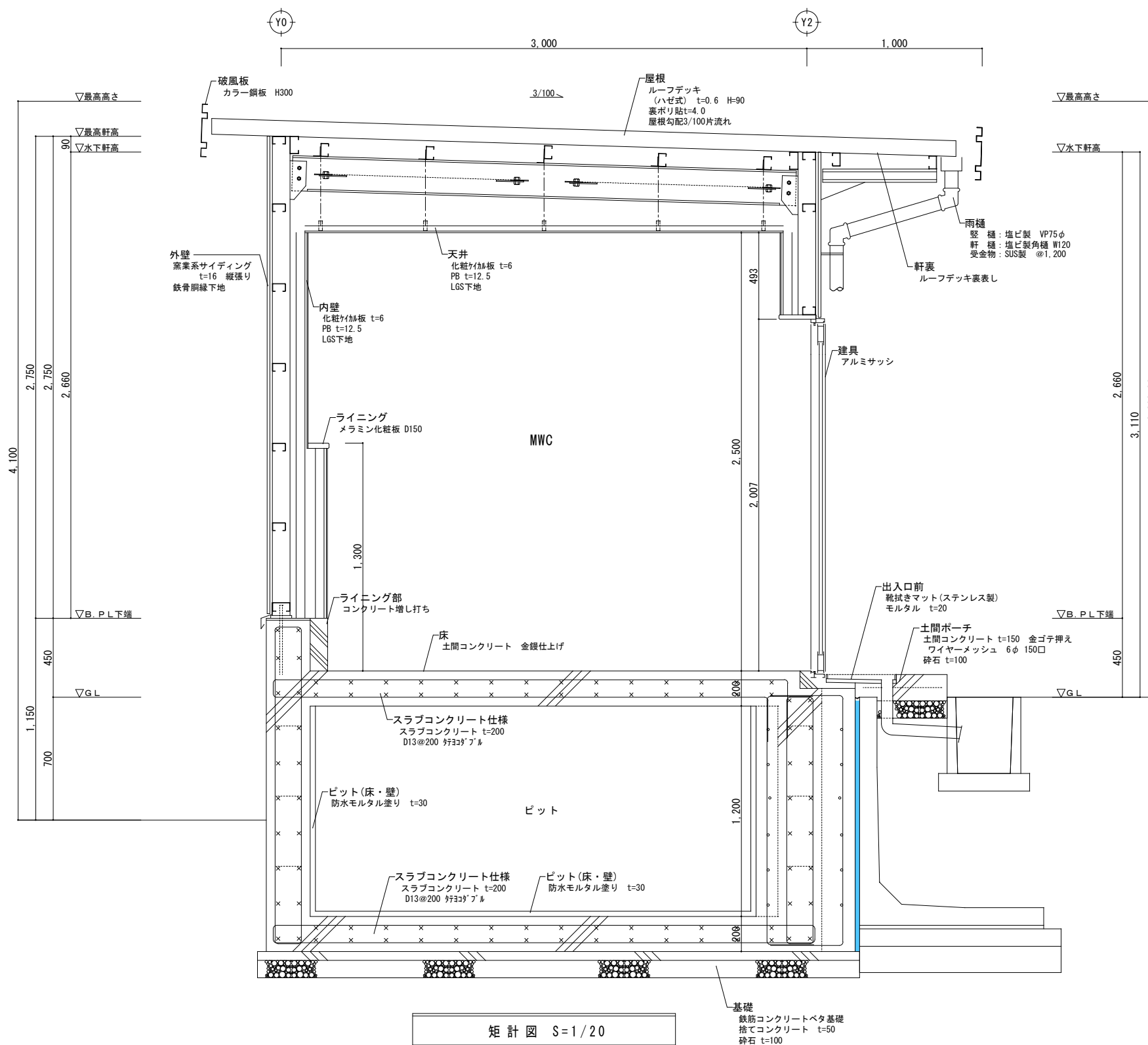


外部仕上表	
屋根	ルーフデッキ(ハゼ式) t=0.6 H=90 裏ボリ貼t=4.0 屋根勾配3/100片流れ
軒天	ルーフデッキ裏表し
外壁	窯業系サイディング 縦張り 鉄骨鋼縁下地
建具	アルミサッシ(硝子：FW6.8mm)、軽量手動シャッター
雨樋	縦樋：塩ビ製 VU75φ 軒樋：塩ビ製
破風板	カラー鋼板 H300
備考	出入り口前：靴拭きマット(ステンレス製) ピクトサイン(2か所)：アルミプレート 150*150 カuttingシート 床下点検口：ステンレス枠モルタル仕上、タラップ：ステンレス製φ20 @350程度

内部仕上表							
室名	床	巾木	壁	天井	廻縁	天井高さ	備考
MWC	スラブコンクリート t=200 D13@200 鉄筋30g/m ² 下部ピットH1200	基礎現し H300	化粧珪藻板 t=6 P.B t=12.5 LGS下地	化粧珪藻板 t=6 P.B t=12.5 LGS下地	塩ビ製	2,500	トイレ・洗面、手洗い器2台、 大便器2台、小便器3台 ライニングH1300、床下点検口
WWC	同上	同上	同上		同上	2,500	トイレ・洗面、手洗い器1台、 大便器2台、紙巻器2台 床下点検口

記号・数量	AD 1	2	AW 1	1	AW 2	3	TB 1	1	TB 2	1
姿図										
形式	アルミ製 片開き戸	アルミ製 高所すべり出し窓	アルミ製 高所すべり出し窓	アルミ製 縦すべり出し窓	トイレブース	トイレブース				
仕上	アルミ押出し形材	アルミ製 高所すべり出し窓	アルミ製 高所すべり出し窓	アルミ製 縦すべり出し窓	高圧メラミン樹脂化粧板	高圧メラミン樹脂化粧板				
見込み	71	71	71	71						
硝子	上：FW t=6.8/下：アルミパネル	FW t=6.8	FW t=6.8	FW t=6.8	-	-				
金物	レバーハンドル、丁番、錠(MK) 戸当たり、付属金物一式	高所用オペレーター			サポートタイプ(Rエッジ)	サポートタイプ(Rエッジ)				
備考	YKKAP 2HD	YKKAP フレミング J	YKKAP フレミング J	YKKAP フレミング J						

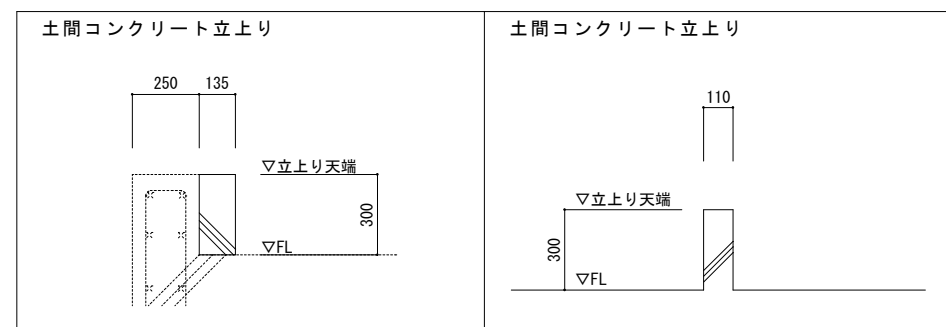




矩計図 S=1/20

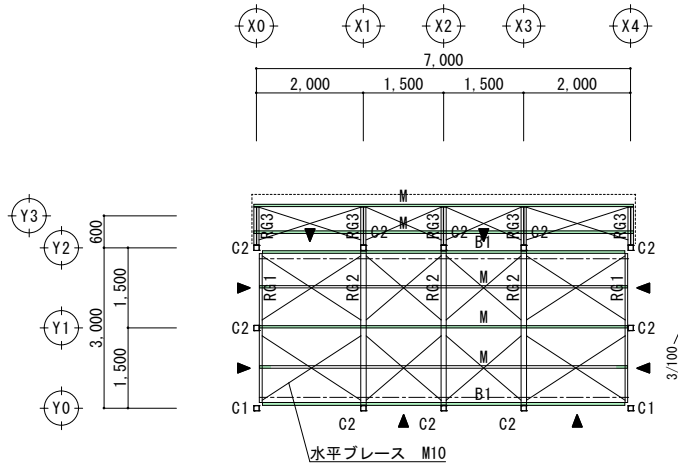
承認	設計	担当	縮尺
			S=1:20
			設計年月日

工事名称 甲西市民総合グラウンド管理棟他改築工事
図面名称 トイレ棟：矩計図

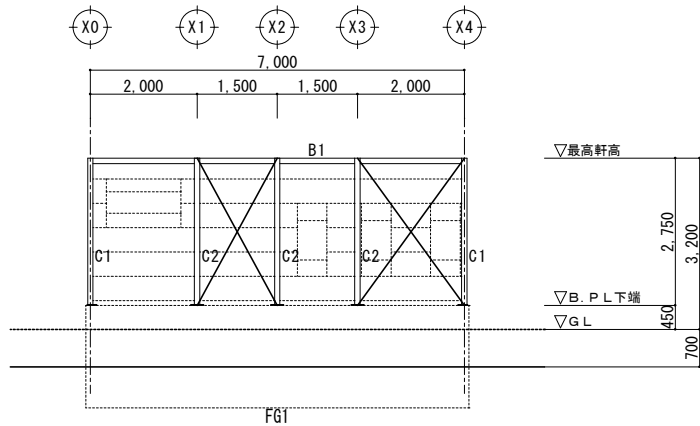


符 号	FG1	Y2通り増し打ち
形 状		
符 号	FG2	FG3
形 状		

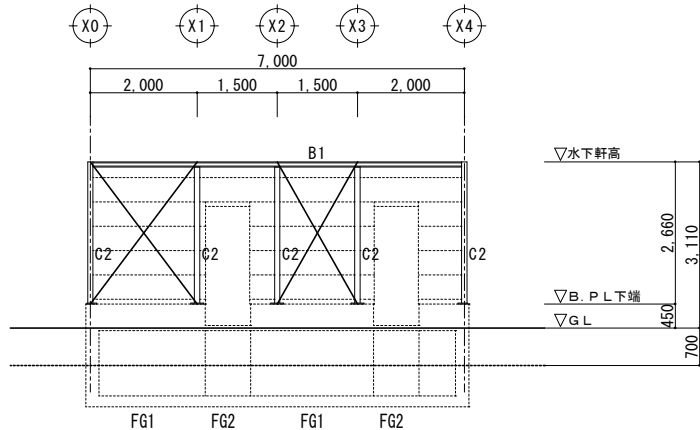
▲ ブレース
---天井吊り下地
(C-75*45*15*2.3)
---タイトフレーム溶接箇所



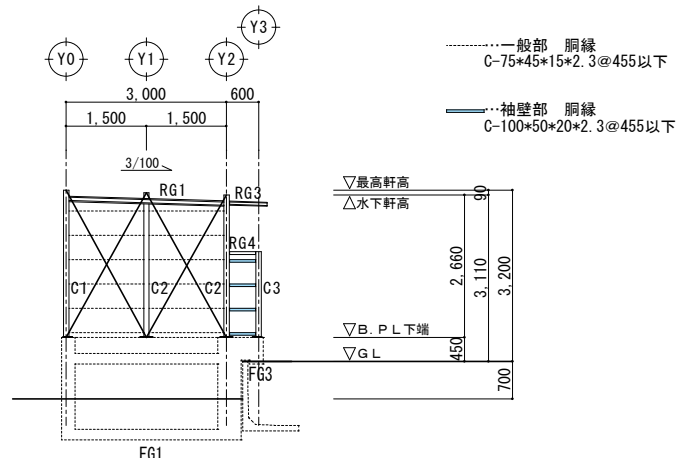
小屋伏図 S=1/100



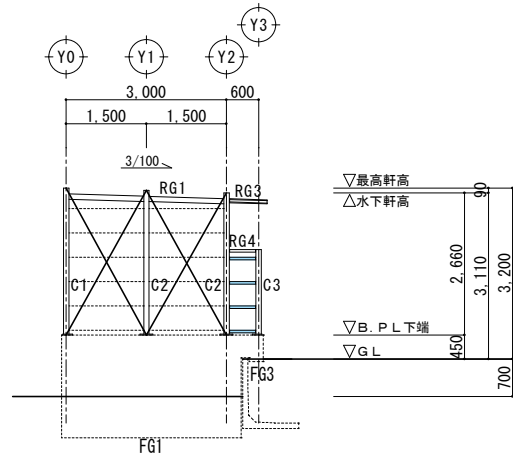
Y0通り 軸組図 S=1/100



Y2通り 軸組図 S=1/100



X0通り 軸組図 S=1/100



X4通り 軸組図 S=1/100

部材リスト S=1/20

符 号	C1	C2	C3	R61	R62	R63	R64
形 状							
主 材	□P-100*100*2.3 B.PL-16.0 (SS400) A.BOLT 2-M16 (SS400) L=320(定着長さ)	□P-100*100*2.3 B.PL-16.0 (SS400) A.BOLT 2-M16 (SS400) L=320(定着長さ)	□P-100*100*2.3 B.PL-16.0 (SS400) A.BOLT 2-M12 (SS400) L=240(定着長さ)	C-100*50*20*2.3 PL-4.5 BOLT 2-M12	H-200*100*5.5*8.0 G.PL-6.0 BOLT 2-M12	2C-75*45*15*2.3 PL-4.5 BOLT 2-M12	C-100*50*20*2.3 PL-4.5 BOLT 1-M12
符 号	B1	M	屋 根	一般部 胴縁	袖壁部 胴縁	水平ブレース	壁ブレース
形 状							
主 材	C-100*50*20*2.3 PL-4.5 BOLT 2-M12	C-75*45*15*2.3 PL-4.5 BOLT 1-M12	ルーフデッキ ハゼ式 t=0.6 H=90 裏ボリ貼 t=4 屋根勾配 3/100 片流れ	C-75*45*15*2.3@455以下 PL-4.5 BOLT 1-M12	C-100*50*20*2.3@455以下 PL-4.5 BOLT 1-M12	R 階梁面: M10 G.PL-4.5 HTB 1-M12	M14 壁ブレースM14 羽子板 t=6.0 HTB 1-M16 G.PL-6.0

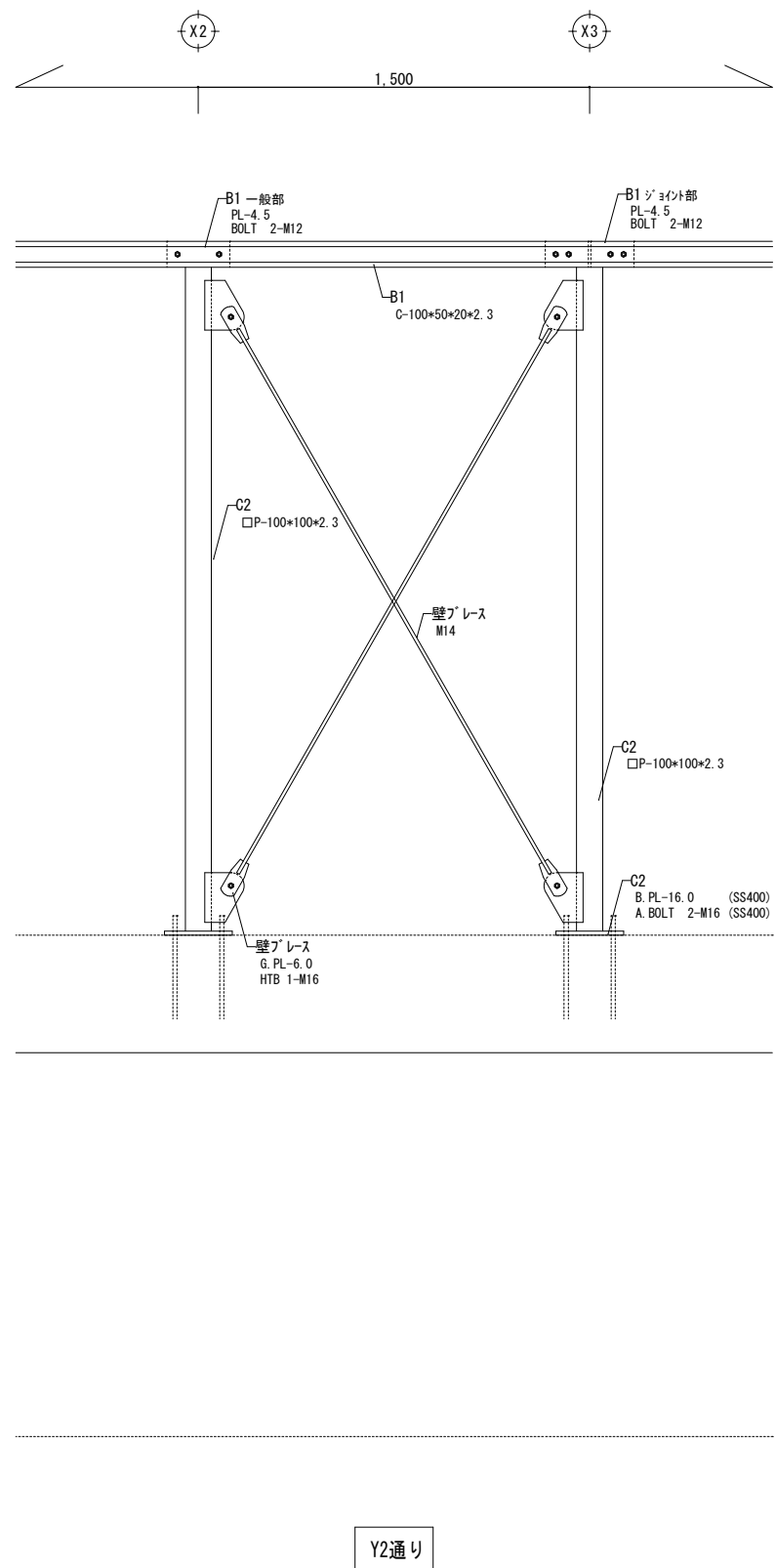
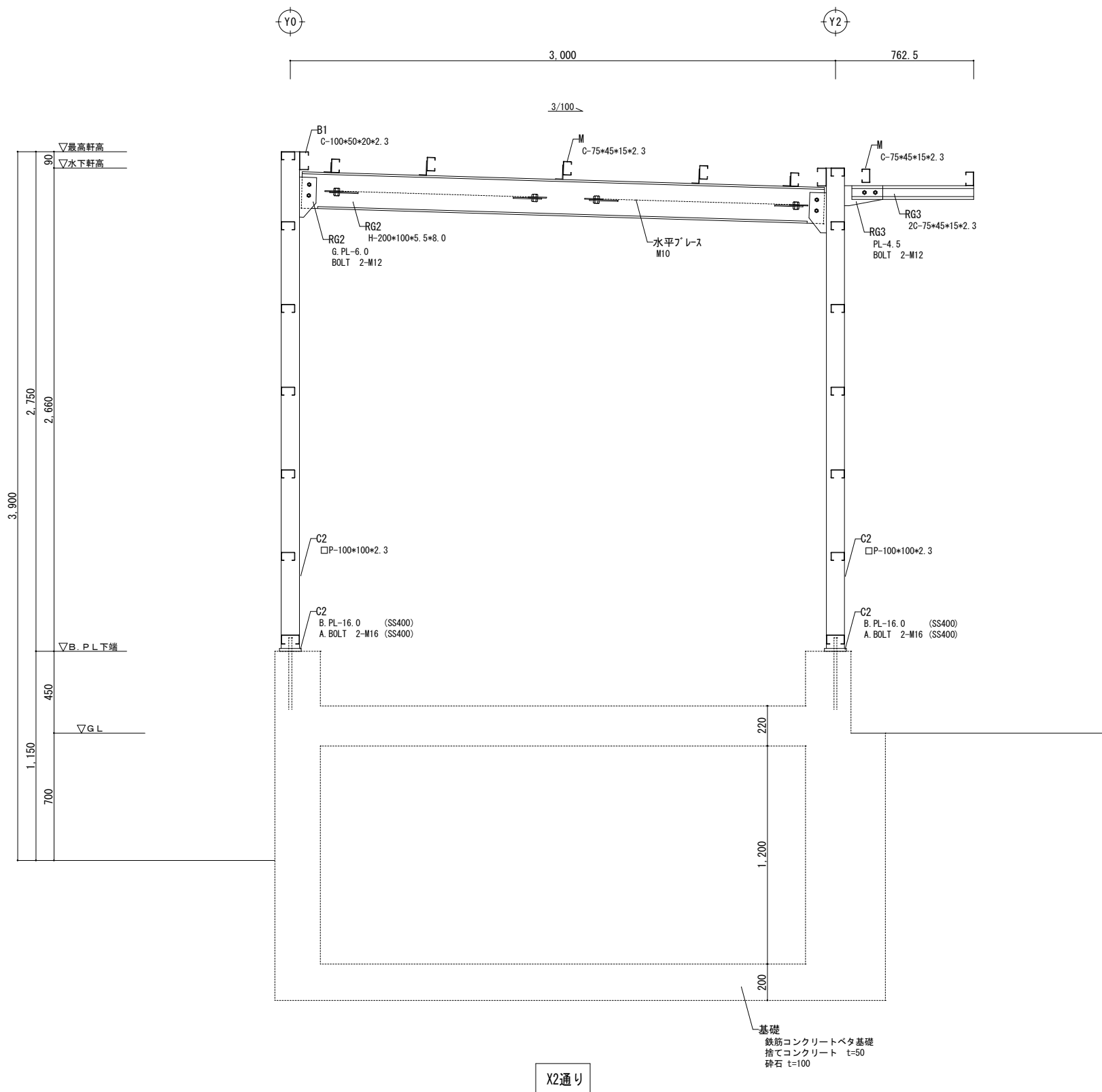
承認 設計 担当

縮 尺 S=1:20
S=1:100

設計年月日

工事名称 甲西市民総合グラウンド管理棟他改築工事

図面名称 トイレ棟: 梁伏図・軸組図・部材リスト



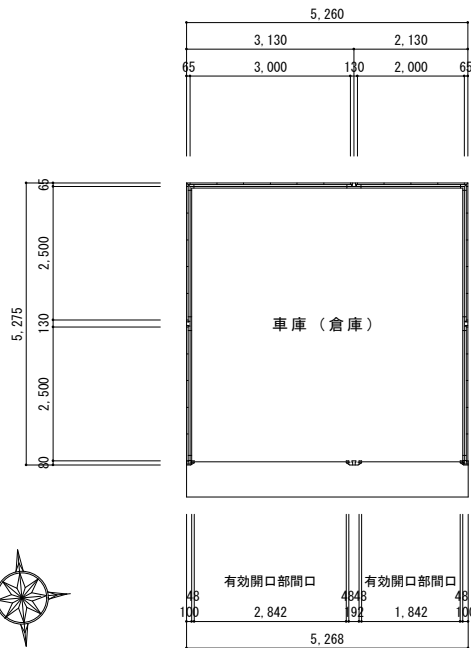
矩 計 図 S=1/20

X2通リ

Y2通リ

基礎
鉄筋コンクリートベタ基礎
捨てコンクリート t=50
碎石 t=100

						縮 尺	工 事 名 称	図 面 名 称	No. A- 20
						S=1/20	甲西市民総合グラウンド管理棟他改築工事	トイレ棟：鉄骨詳細図	
						設計年月日			

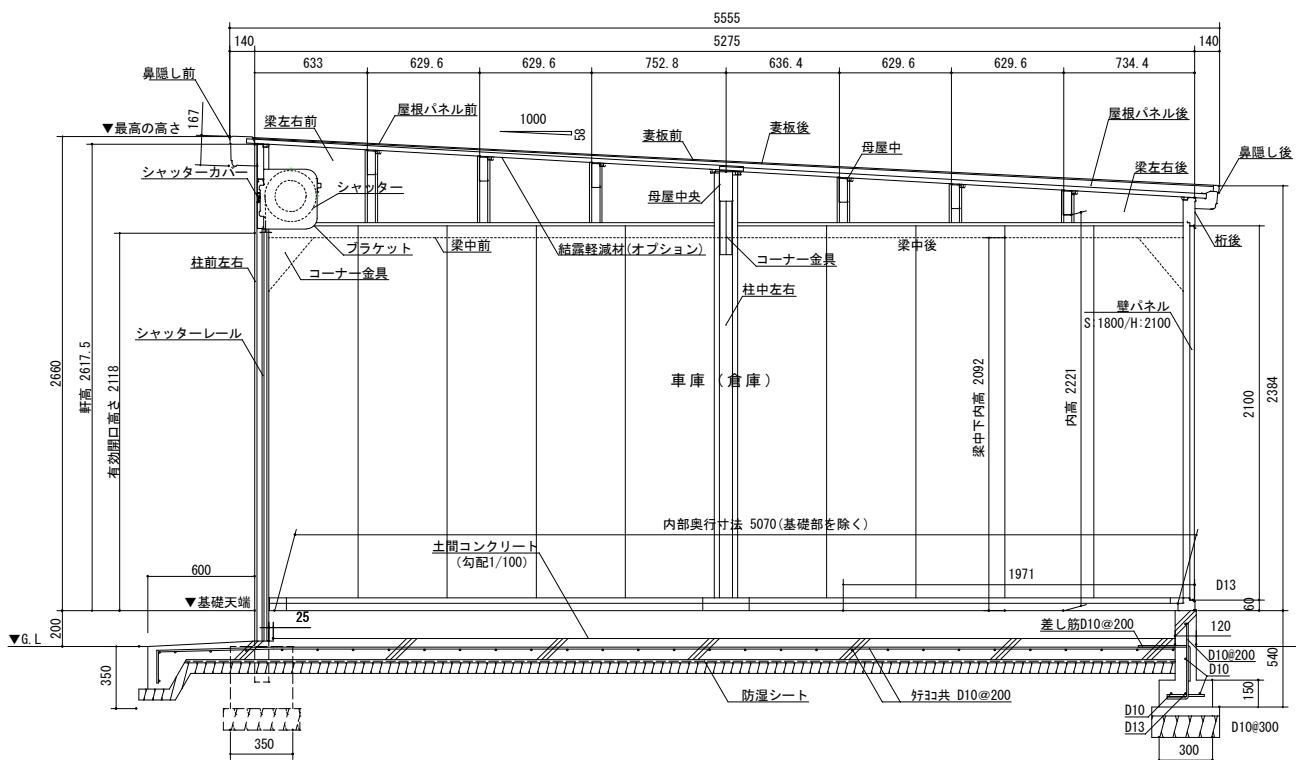


《 床面積 27.74 m² 》
求積計算：5.26×5.275 = 27.7465

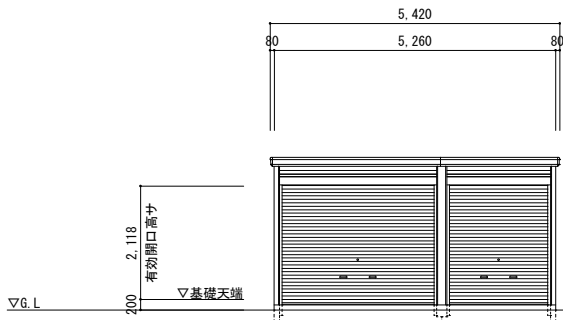
平面図 S=1/100

品番	部 品 名	材料 (材質)	単位mm
1	土台枠	F12	1.2
2	柱前左右	F12	2.3
3	柱前中	F12	1.6
4	柱中左右	F12	1.2+1.6
5	柱後左右	F12	1.6
6	柱後中	F12	1.2+1.6
7	梁中枠取付金具	F12	3.2
8	桁前	Y10	1.6
9	桁後	Y10	1.6
10	梁左右	Y10	1.0
11	梁中前	F12	2.0+3.2
12	梁中後	F12	2.0+3.2
13	梁中屋根板	Y10	1.0
14	下枠カバー	F12	2.3
15	梁中カバー	Y10	0.7
16	母屋中央	F12	1.6
17	母屋中	F12	1.2
18	屋根パネル	Y10	0.5
19	結露軽減材 (不燃材)-別売-	ポリエチレンフォーム	4.0
20	壁パネル	F12	0.7
21	妻板左右	Y10	0.7
22	鼻隠シ前後	Y10	0.7
23	コーナー金具	F12	2.3
24	シャッター(スラット)	Z08	0.5
25	シャッターカバー	F12	0.7
26	シャッターレール	アルミニウム合金押出型材	
F12→溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)			
Y10→溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)			
Z08→塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3312)			

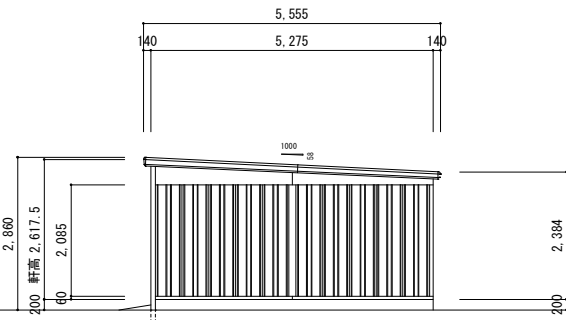
※ 株式会社稲葉製作所 (GRN-3121・52H) 同等品



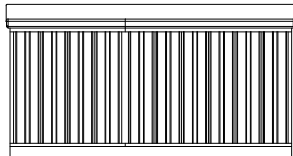
断面詳細図 S=1/30



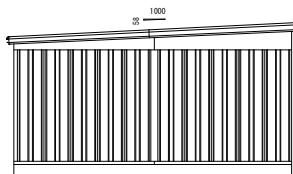
西側 立面図 S=1/100



南側 立面図 S=1/100



東側 立面図 S=1/100



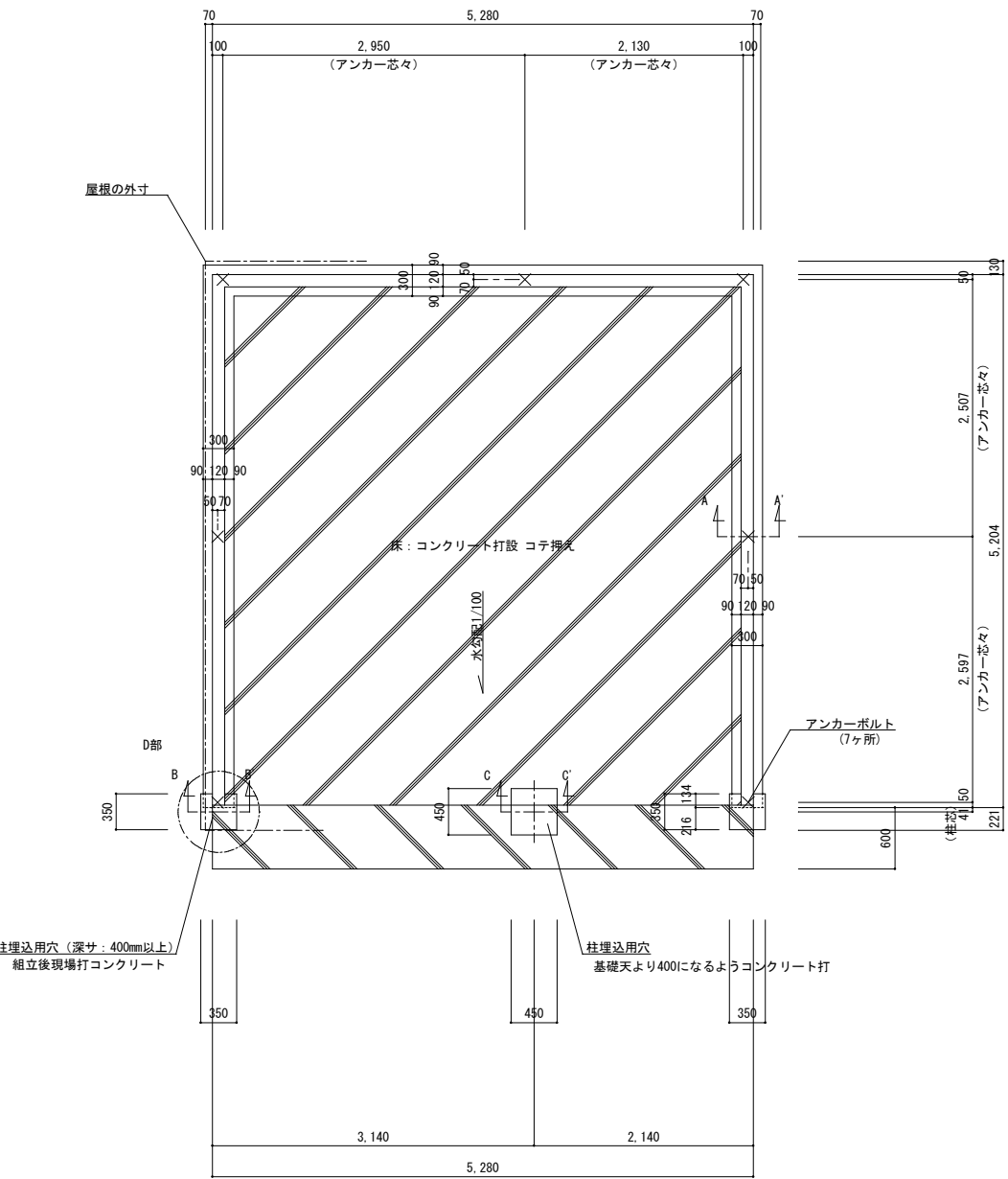
北側 立面図 S=1/100

承認	設計	担当	

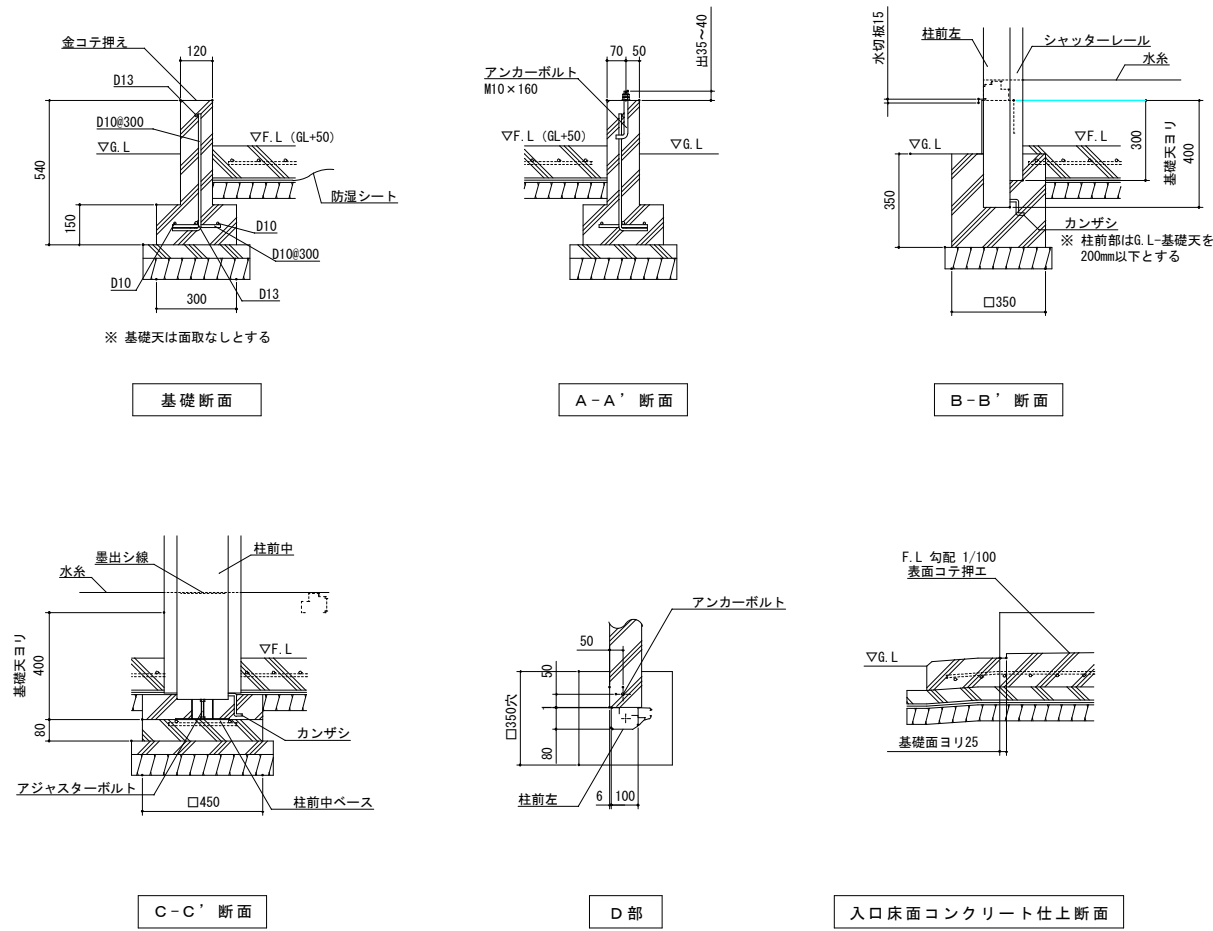
縮 尺
S=1:30・100
設計年月日

工事名称 甲西市民総合グラウンド管理棟他改築工事
図面名称 車庫 (倉庫) : 平面図・立面図・断面詳細図

基礎伏図 S=1:50



基礎詳細図 S=1:20



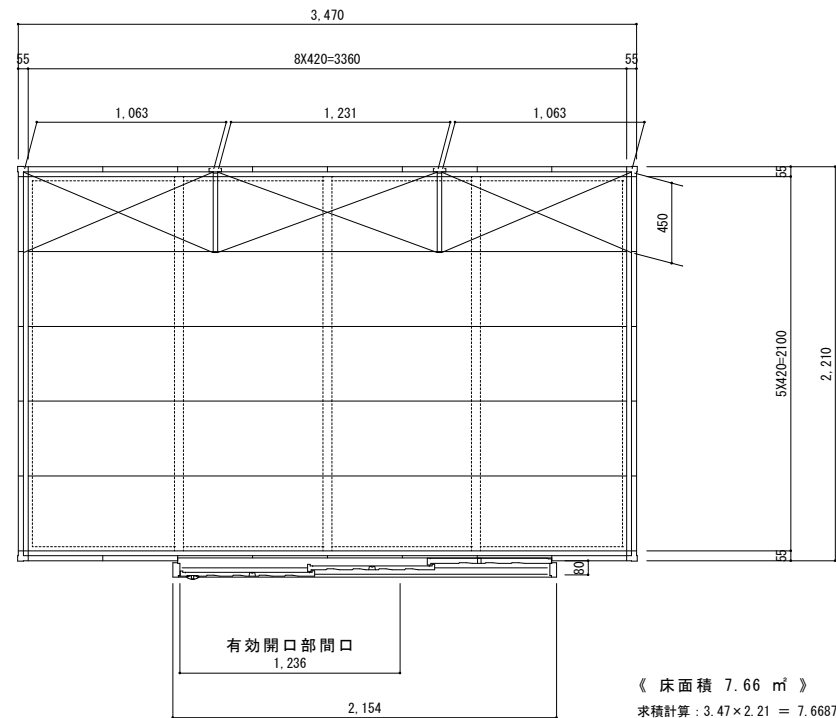
特記事項

- 1 施工図提出の上係員の承認を得る事
- 2 使用材料
コンクリート F c 21
鉄筋 S D 295 A (D 16以下)
- 3 鉄筋の継手・定着・端末及び被り等は下記の文献による
日本建築学会編 「RC造配筋指針・同解説」
日本建築学会編 「壁構造配筋指針」
- 4 設計許容地耐力 30 KN/m²
施工に当たって支持層付近の地盤を載荷試験にて確認の事

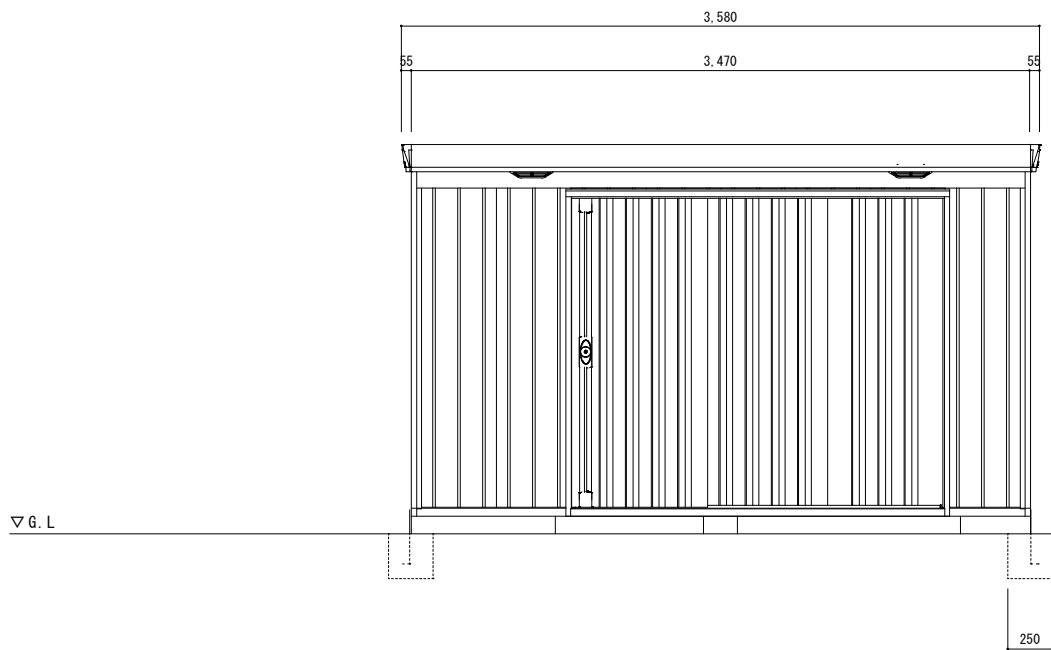
承認	設計	担当	

縮尺	S=1:20・50
設計年月日	

工事名称	甲西総合グラウンド管理棟他改築工事
図面名称	車庫(倉庫):基礎伏図・基礎詳細図



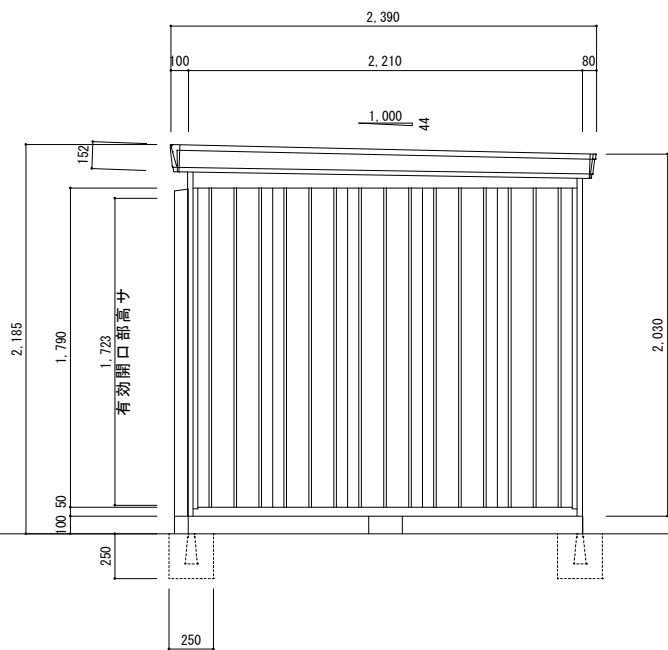
平面図 S=1/30



正面図 S=1/30

品番	部 品 名	材料 (材質)	板厚 (mm)
1	土台取付板	SGMH400 K27	2.3
2	土台	SGC400 F12	1.2
3	根太	SGCC F12	1.2
4	柱	SGC400 F12	1.2
5	床パネル	SGCC F12	1.0
6	桁前	SZAC400 Y10	1.0
7	桁後	SZAC400 Y10	1.0
8	妻板左右	SZAC400 Y10	0.7
9	鼻隠シ前後	SZACC Y10	0.7
10	屋根パネル	SZAC400 Y10	0.5
11	母屋中 (間口3470mm)	一般型	SGC400 F12
		多雪型	SGH400 F12
12	壁パネル	SGC400 F12	0.6 (0.7)
13	壁面扉鴨居	SGC400 F12	0.7
14	壁面扉敷居	SGCC F12	1.0
15	壁面扉枠左右	SGC400 F12	1.0
16	正面パネル	SGC400 F12	0.7
17	扉	SGCC F12	0.8
18	棚板	SECC E8	0.6
19	アンカープレート	SGHC F12	2.3
SGMH400 : 溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板 (JIS G 3323)			
SGC400, SGCC, SGH400, SGHC : 溶融亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3302)			
SZAC400, SZACC : 溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板 (JIS G 3317)			
SECC : 電気亜鉛めっき鋼板 (JIS G 3313)			
・ 〈 〉 内はH高さを示す。			

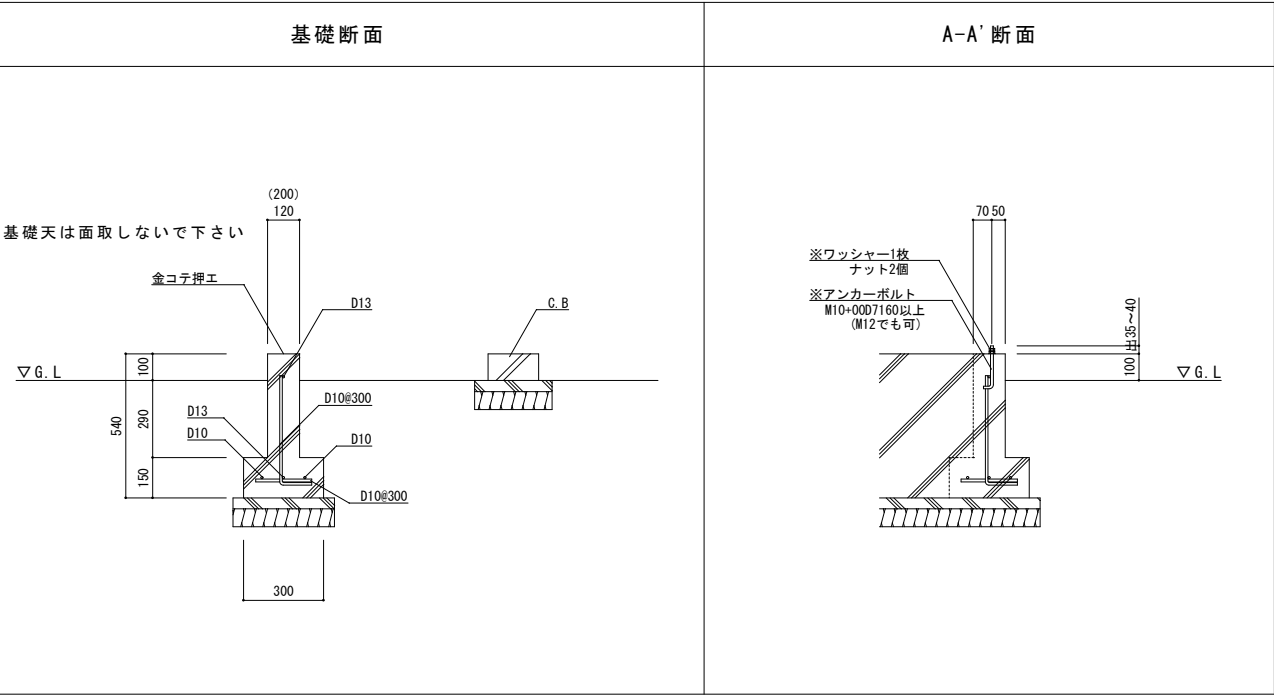
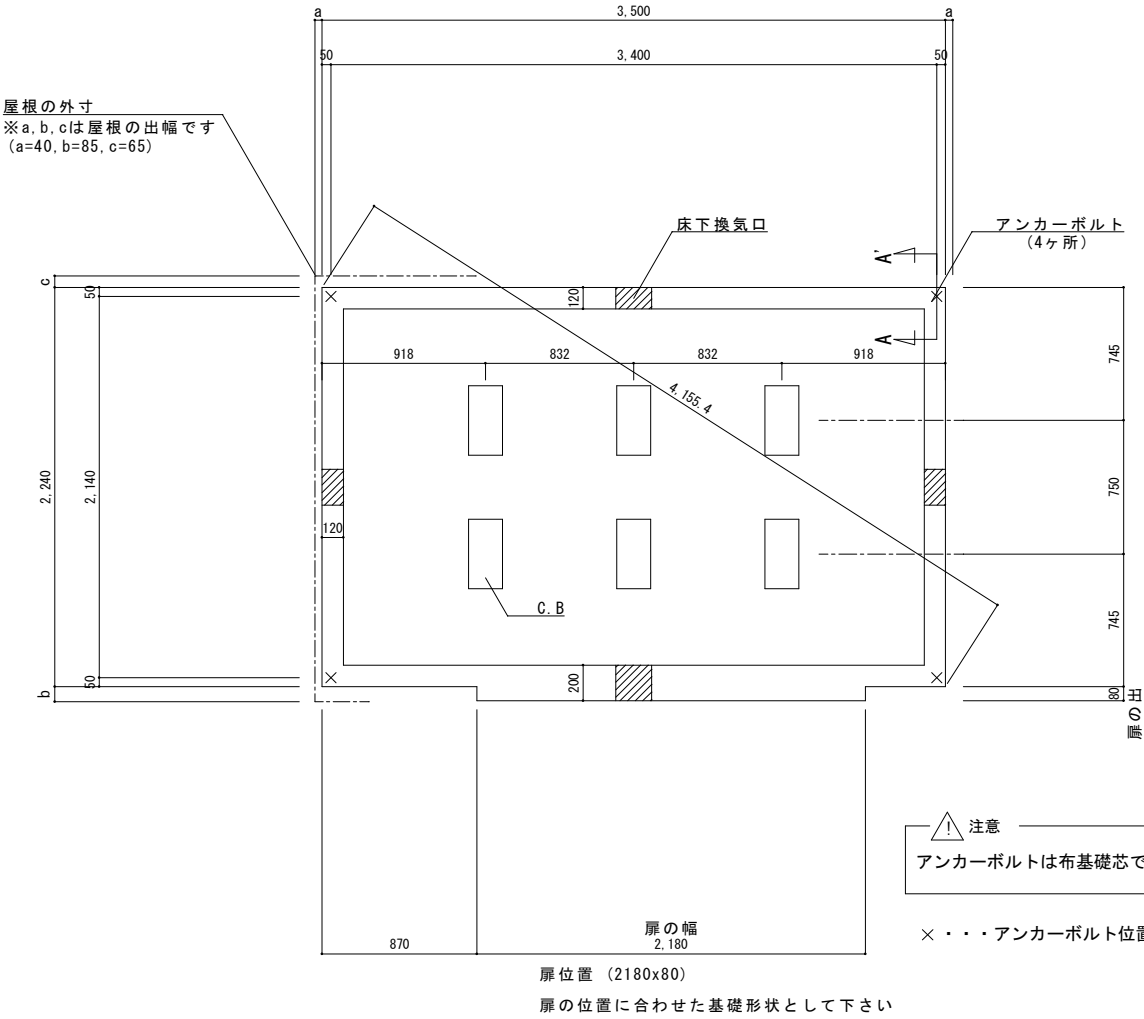
※ 株式会社稲葉製作所 (FS-3522S) 同等品



側面図 S=1/30

基礎伏図 S=1:30

基礎詳細図 S=1:20



承認	設計	担当	

縮尺
S=1:20・30
設計年月日

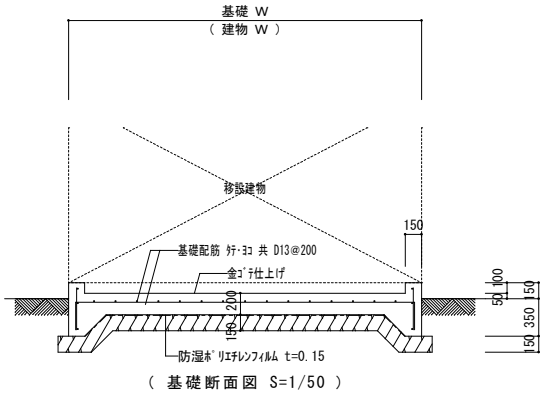
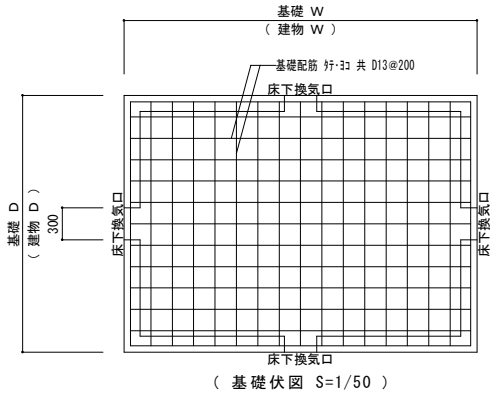
工事名称	甲西総合グラウンド管理棟他改築工事
図面名称	物置4・5：基礎伏図・基礎詳細図

■ グラウンド既施設 移設建物一覧










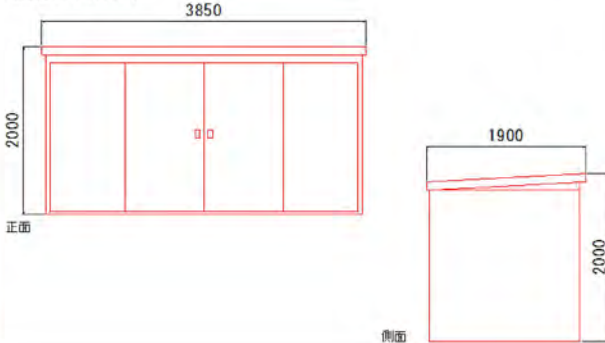
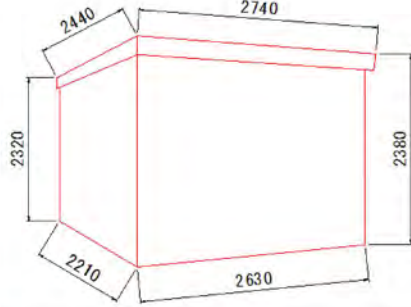
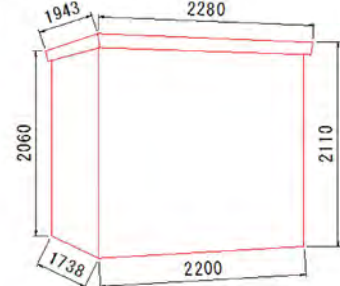
出典資料：ケイコンサルタント提供資料より

	管理 番号	施 設 名 (用途)	単位	数量	構 造 (型式)	材 質	建 物 寸 法 (H 高さ・D 奥行・W 幅・L 長さ)	備 考	基 礎 寸 法 (W × D)
移 設 建 物	B-04	物置 1	個	1	物置型	スチール	(H) 2000 × (D) 1900 × (W) 3850	ソフトボール場 既製品 (スズキハウス)	(W) 3,850 × (D) 1,900
	B-05	物置 2	個	1	物置型	"	(H) 2380 × (D) 2440 × (W) 2740	" 既製品 (イナバ物置 MFW-60HB)	(W) 2,740 × (D) 2,440
	B-06	物置 3	個	1	物置型	"	(H) 2110 × (D) 1943 × (W) 2280	" 既製品 (田窪工業所 ND-2217)	(W) 2,280 × (D) 1,943
※ 仮置場より指定場所へ移設									※ 移設建物 (4隅) と基礎を緊結

基 礎 詳 細 図



- 特記事項
- 1 施工図提出の上係員の承認を得る事
 - 2 使用材料
コンクリート F c 21
鉄筋 S D 295 A (D16以下)
 - 3 鉄筋の継手・定着・端末及び被り等は下記の文献による
日本建築学会編 「R C 造配筋指針・同解説」
日本建築学会編 「壁構造配筋指針」
 - 4 設計許容地耐力 30 KN/m²
施工に当たって支持層付近の地盤を載荷試験にて確認の事

管理番号		B-04				「運動設備関連(付帯設備)」				管理番号		B-05				「運動設備関連(付帯設備)」				管理番号		B-06				「運動設備関連(付帯設備)」																											
施設名称		物置 1				数量(個)		1		施設名称		物置 2				数量(個)		1		施設名称		物置 3				数量(個)		1																									
材質		スチール		規格・寸法		(H) 2000 × (D) 1900 × (W) 3850						材質		スチール		規格・寸法		(H) 2380 × (D) 2440 × (W) 2740						材質		スチール		規格・寸法		(H) 2110 × (D) 1943 × (W) 2280																							
【写真】																		【写真】																		【写真】																	
<div>全体・遠景</div> 																		<div>全体・遠景</div>  <div>側面</div> 																		<div>正面</div>  <div>背面</div> 																	
<div>側面</div>  <div>拡大①</div> 																		<div>拡大</div> 																		<div>拡大</div> 																	
【図面・現況図】																		【図面・現況図】																		【図面・現況図】																	
・既製品(スズキハウス)																		・既製品(イナバ物置 MFW-60HB) ・平成17年関東学童軟式野球大会出場記念																		・既製品(田窪工業所 ND-2217) ・平成29年度卒園生保護者一同より																	
																																																					

出典資料：ケイコンサルタント提供資料より

承認 設計 担当

縮 尺

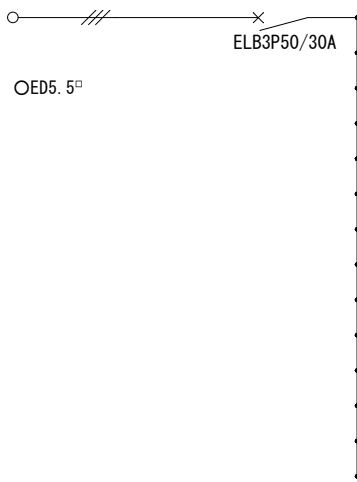
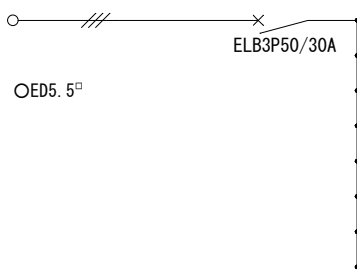
NO SCALE

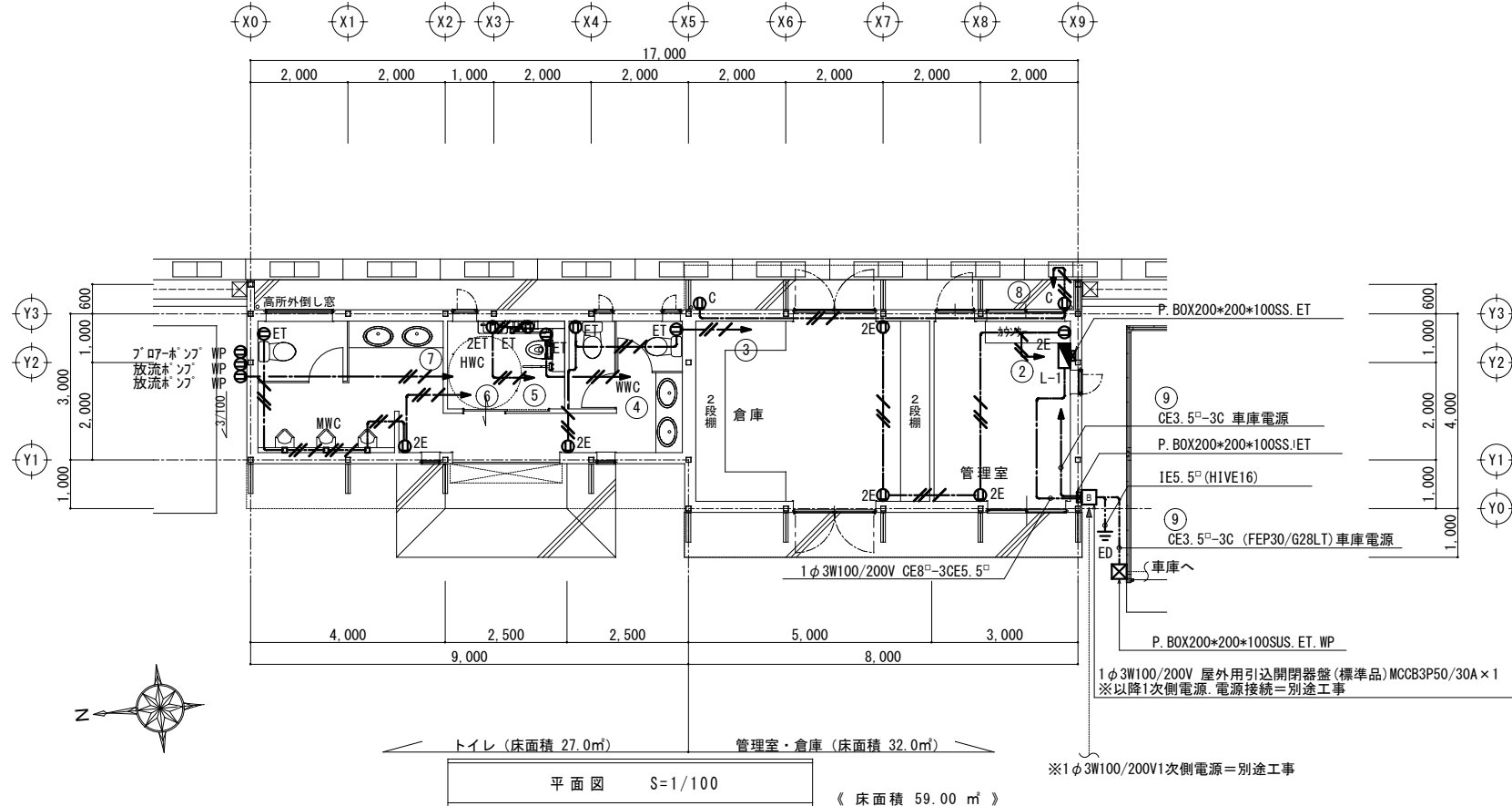
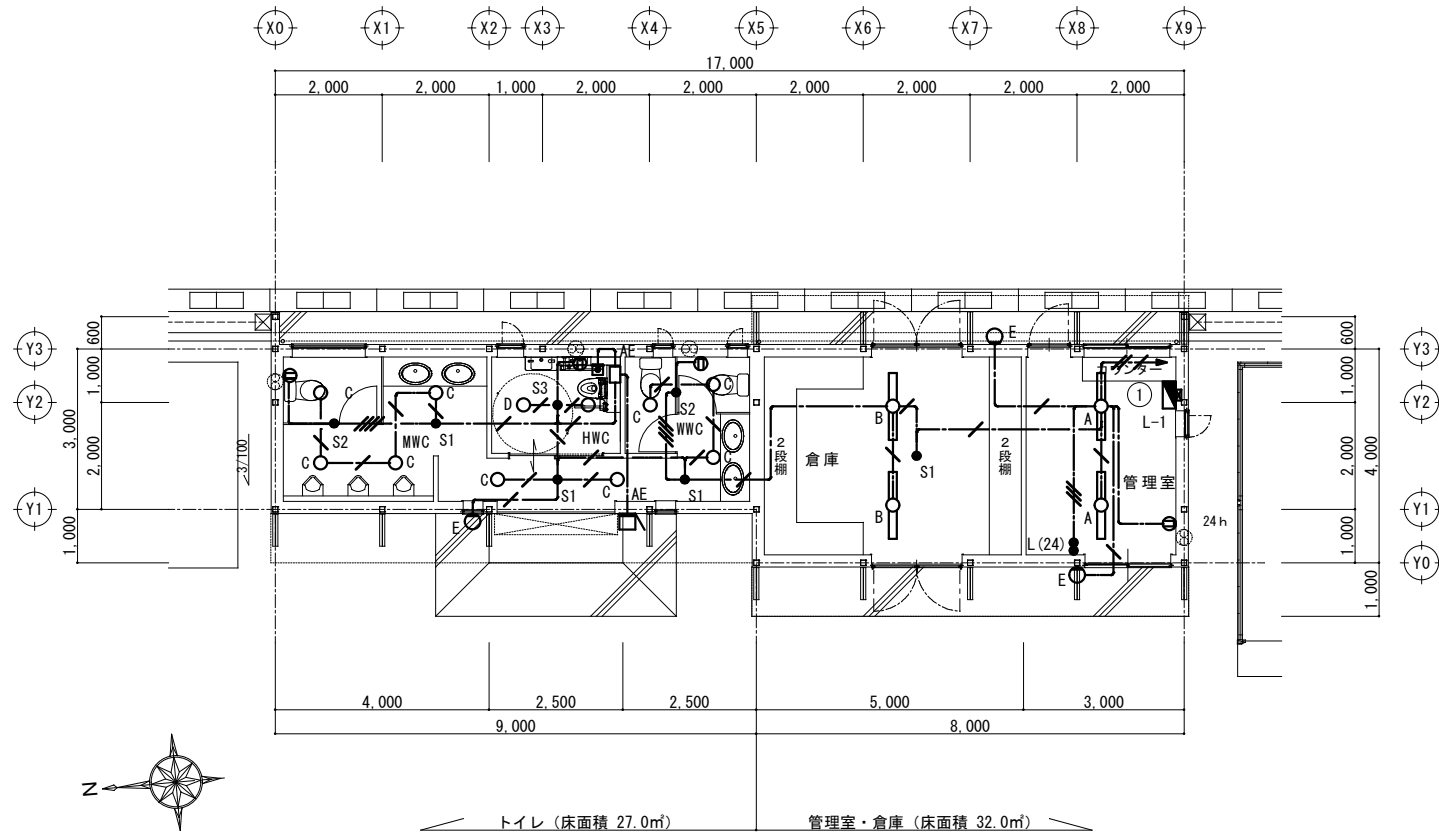
設計年月日

工事名称 甲西市民総合グラウンド管理棟他改築工事

図面名称 グラウンド既施設 資料 (移設建物)

[illegible]

盤 名 称	幹線サイズ	結 線 図	回路 No.			分 岐 開 閉 器				A F	A T	R-Ry	負 荷 名 称	負 荷 容 量	単 位 装 置		備 考	二 次 側 配 線
			1φ 100V	1φ 200V	3φ 200V	M C C B	M C C B NS付	E L C B	E L C B NS付						操作 制御 方式	操作 制御 スイッチ		
電灯盤 (L-1) 銅板製・露出形 鍵付 (標準品) 管理棟	EM-CE8 [□] -3C	1φ3W200/100V																
			①				2 P			3 0	2 0		管理室、倉庫、HWC、MWC、外部照明	336				
			②				2 P			3 0	2 0		管理室、倉庫コンセント	400				
			③				2 P			3 0	2 0		WWCコンセント	212				
			④				2 P			3 0	2 0		HWCコンセント	1260				
			⑤				2 P			3 0	2 0		HWCコンセント	505				
			⑥				2 P			3 0	2 0		MWCコンセント	186				
			⑦				2 P			3 0	2 0		ﾌﾞﾛｯｸﾞﾗﾝﾌﾞ、放流ﾌﾞﾗﾝﾌﾞ 外部コンセント	510				
			⑧				2 P			3 0	2 0		外部コンセント	200				
			⑨				2 P			3 0	2 0		車庫 (倉庫) コンセント	243				
							2 P			3 0	2 0		予備	**				
							2 P			3 0	2 0		S P	**				
							2 P			3 0	2 0		S P	**				
							2 P			3 0	2 0		S P	**				
							2 P			3 0	2 0		S P	**				
電灯盤 (L-2) 銅板製・露出形 鍵付 (標準品) トイレ棟	EM-CE8 [□] -3C	1φ3W200/100V																
			①				2 P			3 0	2 0		WWC、MWC、外部照明	165				
			②				2 P			3 0	2 0		WWCコンセント	212				
			③				2 P			3 0	2 0		MWCコンセント	242				
			④				2 P			3 0	2 0		ﾌﾞﾛｯｸﾞﾗﾝﾌﾞ、放流ﾌﾞﾗﾝﾌﾞ 外部コンセント	510				
			⑤				2 P			3 0	2 0		配管ヒーター外部コンセント	300				
			⑥				2 P			3 0	2 0		予備					
							2 P			3 0	2 0		S P					
							2 P			3 0	2 0		S P					

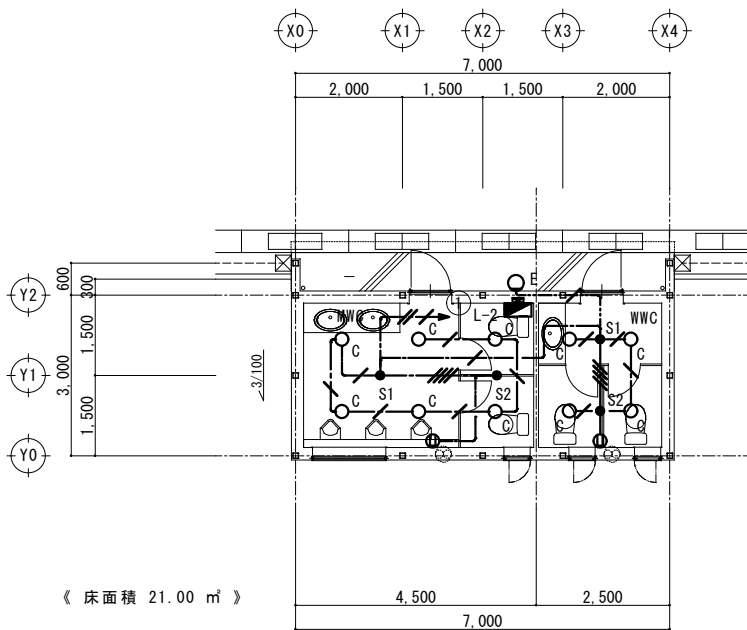


記入無き配管配線及び機器は下記による・機器凡例

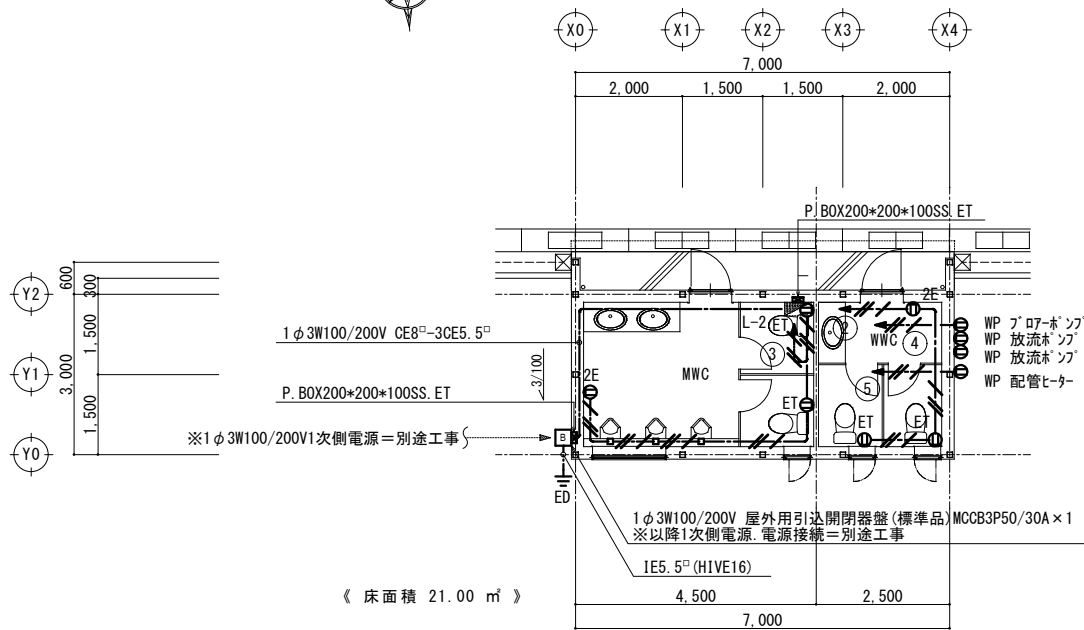
EM-EEF1. 6-2C	天井	保護管 (PF16)
EM-EEF1. 6-3C	天井	保護管 (PF22)
EM-EEF1. 6-3C	接地線含 天井	保護管 (PF22)
EM-EEF1. 6-2C×2	天井	保護管 (PF22)
EM-EEF2. 0-3C	接地線含 天井	保護管 (PF22)
AE EM-AE0. 9-3C	天井内 天井	保護管 (PF16)

電灯分電盤 L-1
HWC警報盤. MCB2P15A×1. WR2801×1. 鋼板製露出鍵付箱入
照明器具 姿図参照
照明器具 姿図参照
照明器具 姿図参照
S1 熱線センサ付自動スイッチ親器
S2 熱線センサ付自動スイッチ子器 (換気連動用)
S3 熱線センサ付自動スイッチ (換気消遅機能付)
L (24) 1P×1+1PL (新金製ﾌﾞﾚｰﾄ)
埋込コンセント2P15A×1 (新金製ﾌﾞﾚｰﾄ)
2E 埋込コンセント2P15A×2 (新金製ﾌﾞﾚｰﾄ)
ET 埋込コンセント2P15A×1. ET (新金製ﾌﾞﾚｰﾄ)
2ET 埋込コンセント2P15A×2E. ET (新金製ﾌﾞﾚｰﾄ)
WP 防水コンセント2P15A×2ET. LK
C 埋込コンセント2P15A×2E (鍵付金製防滴ﾌﾞﾚｰﾄ)
埋込防沫ﾌﾙｽｲｯﾁ付押釦 (非常用押釦ON保持形) 参考: WS6677
警報ﾗﾝﾌﾟ付ﾌﾞﾗｰ (防雨形) 参考: WA5524

注記
1: 壁内配線はPF管にて保護の事。
2: 非常用押釦は、使用時方法を表示する事。



《 床面積 21.00 m² 》



《 床面積 21.00 m² 》

平面図 S=1/100

記入無き配管配線及び機器は下記による・機器凡例

EM-EEF1.6-2C	天井	保護管 (PF16)
EM-EEF1.6-3C	天井	保護管 (PF22)
EM-EEF1.6-3C	接地線含 天井	保護管 (PF22)
EM-EEF1.6-2C×2	天井	保護管 (PF22)
EM-EEF2.0-3C	接地線含 天井	保護管 (PF22)

電灯分電盤 L-2

照明器具 姿図参照

照明器具 姿図参照

S1 熱線ヒガ付自動スイッチ親器

S2 熱線ヒガ付自動スイッチ子器 (換気連動用)

埋込コンセント2P15A×1 (新金製プレート)

2E 埋込コンセント2P15A×2 (新金製プレート)

ET 埋込コンセント2P15A×1. ET (新金製プレート)

WP 防水コンセント2P15A×2ET. LK

注記

1: 壁内配線はPF管にて保護の事。

承認

設計

担当

縮尺

S=1:100

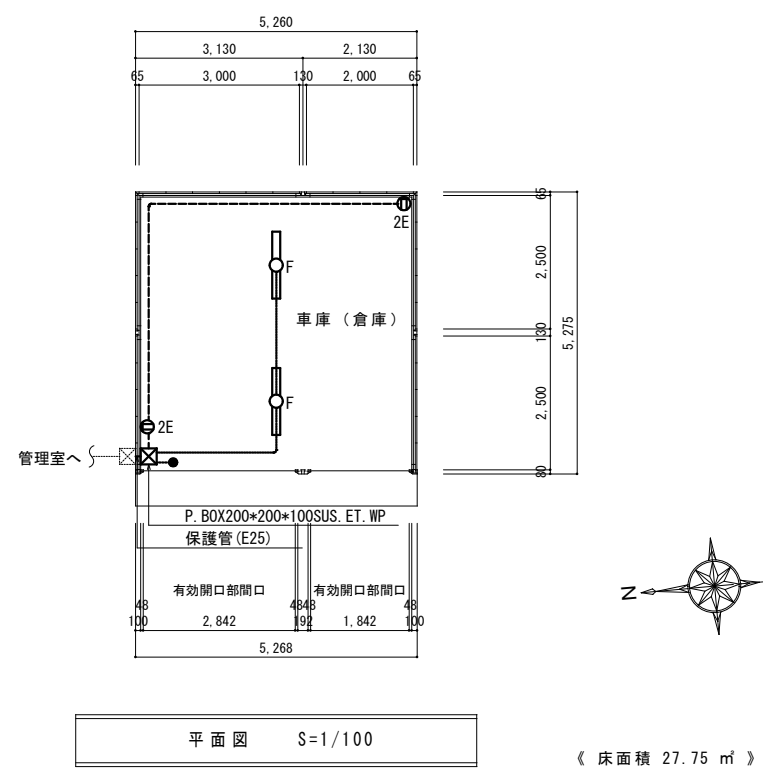
設計年月日

工事名称

甲西市民総合グラウンド管理棟他改築工事

図面名称

電灯コンセント設備 トイレ棟：平面図



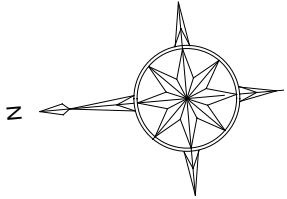
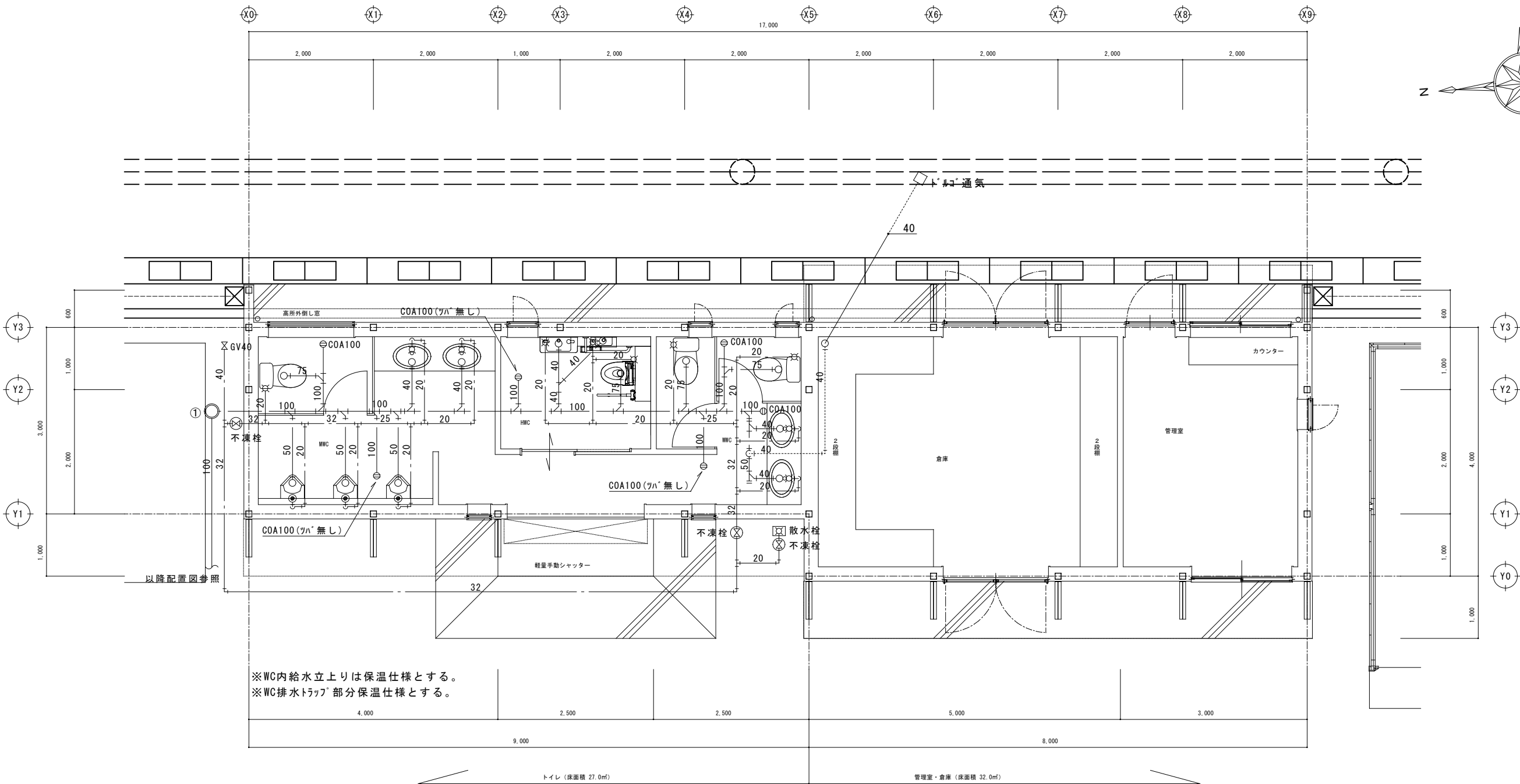
記入無き配管配線及び機器は下記による・機器凡例

—EM-1E2.0×2E2.0 (E19)	露出
---EM-1E2.0×2E2.0 (PF16/E19)	インペイ
□ 照明器具 姿図参照	
● 埋込スイッチ1P*1 (新金製プレート)	露出スイッチボックス
Ⓛ 2E 埋込コンセント2P15A×2 (新金製プレート)	露出スイッチボックス

特 記 仕 様 書									
工 事 名 称	甲西市民総合グラウンド管理棟他改築工事					○ 換 気 設備工事			
工 事 場 所	山梨県南アルプス市宮沢428					本工事は、管理室、トイレに換気扇を取り付ける。			
工 事 範 囲	設計図書・工事契約書に依る。								
建 物 概 要	ＲＣ造 延面積 ㎡				メーカーリスト	配管、継手類 J I S及びJ W W A規格メーカー			
						弁 類 キッツ 東洋バルブ 日邦バルブ			
一 般 事 項	1. 本工事は全て、図面・本仕様書及び標準仕様書（国土交通大臣官房庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）					衛生器具類 T O T O L I X I L			
	・同標準図最新版）に基づき、諸官庁関係法規に準拠して施工する。					合併浄化槽 フジクリーン アムズ 山梨日化サービス			
	2. 本工事に於いて、図面・本仕様書に疑義が生じた場合やそれに明記なき場合でも、技術上・維持管理上当然必要なものは、					換 気 扇 三菱電機 パナソニック			
	係員と協議の上誠実に施工するものとする。 但し、その費用は請負者の負担とする。					上記及びそれ以外のものについても、材料承諾願図による係員の承諾を要す。			
	3. 本設計図は工事概要を示すものであるから、請負者は十分なる理解の上、工事着工に先立ち工程表、施工計画書、材料承諾願図、				特 記 事 項	1. 主要な弁類には、使用用途を記したプラスチックの用途札を取付けること。弁類の前後等適当な箇所にフランジ継手又は			
	施工図等を提出し係員の承諾を得ること。					ユニオンを挿入し、取外しを容易にすること。 また、水栓接続は座付継手とする。			
	4. 本工事に於いて、契約後速やかコリンズ登録を行うこと。またC R E D A S（最新版）を用いての再資源利用計画・実施書の					2. 給水等に使用する器具・バルブ類は鉛レス対策品とし、鋼管への接続はコア付とすること。			
	提出を行うこと。					3. 配管に使用するボルトナット及びフランジアングル類は亜鉛メッキ以上の物を使用すること。			
	5. 本工事に伴う関係諸官庁等への申請及び手続きは遅滞なく行うこと。ただし、その費用は請負者の負担とする。					但し、屋外及び屋内埋設に使用する支持金物類はステンレス製を使用すること。			
	6. 本工事請負者は工期内に工事を完成させ、同時に完成書類一式を提出し、検査を受けなければならない。					4. 配管の耐震施工は、国土交通省施工指針等により実施すること。また設置機器類は耐震計算書を提出し、それに適合する			
	7. 本工事請負者は工事完成引き渡し後でも施工方法、器具類の不良等に起因する事故に対しては責任を持って修復しなければならない。					アンカーボルト等を使用すること。			
						5. 床上掃除口はツバ付化粧型V P用とする。			
工 事 項 目	管理棟		トイレ棟			6. 衛生器具陶器の色は標準色同等価格とし、係員と協議の上決定する。			
	1. 給 水 設備工事		1. 給 水 設備工事			7. 衛生器具廻りの排水管は、硬質塩化ビニル管を使用すること。			
	2. 排 水 設備工事		2. 排 水 設備工事			8. 施工に当たっては、既存の調査を十分行い現況に合わせて施工を行う事。			
	3. 衛生器具 設備工事		3. 衛生器具 設備工事			9. 「山梨県暴力団排除条例の施工に伴う、公共工事からの暴力団排除」を目的として、受注者は下請負者を用いる場合には、			
	4. 浄化槽 設備工事		4. 浄化槽 設備工事			金額・工種の如何にかかわらず、末端の下請負者まで反映させた「下請施工体系図」を作成し、遺漏・誤謬が無いよう記載内容を			
	5. 換 気 設備工事		5. 換 気 設備工事			十分確認の上、遅滞なく監督員に提出するものとする。			
						また提出した「下請施工体系図」の内容に変更が生じた場合は、その都度変更するものとし、遅滞なく監督員に提出すること。			
優 先 順 位	1. 法令・政令・規則等の定め及び指導					尚、提出は打合せ簿によるものとする。			
	2. 特記仕様書								
	3. 設計図書								
	4. 国土交通大臣官房庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編） 最新版				保温塗装防食仕様	○ 給水管	いんべい部	ポリスチレンフォーム保温筒（2 0 m m厚）＋粘着テープ＋アルミガラスクロス	
							ピット内	ポリスチレンフォーム保温筒（2 0 m m厚）＋粘着テープ＋ポリエチレンフィルム	
工 事 概 要	○ 給 水 設備工事							＋着色アルミガラスクロス	
	本工事は、グラウンド側から供給される給水（土木工事）よりトイレの必要か所に、給水を供給する。								
	○ 排 水 設備工事				凡 例	給 水 管	—— - ——	硬質塩ビライニング鋼管 V B	
	本工事は、トイレに有る各器具の排水を屋外に設置した合併処理浄化槽に接続する。					排 水 管	—————	硬質塩化ビニール管 V P	
						通 気 管	硬質塩化ビニール管 V P	
	○ 衛生器具 設備工事								
	器具表に表記した衛生器具を取り付ける。								
	○ 浄化槽 設備工事								
	本工事は、屋外に小型合併浄化槽（管理棟7人槽、トイレ棟5人槽）を重耐仕様で設置する。								

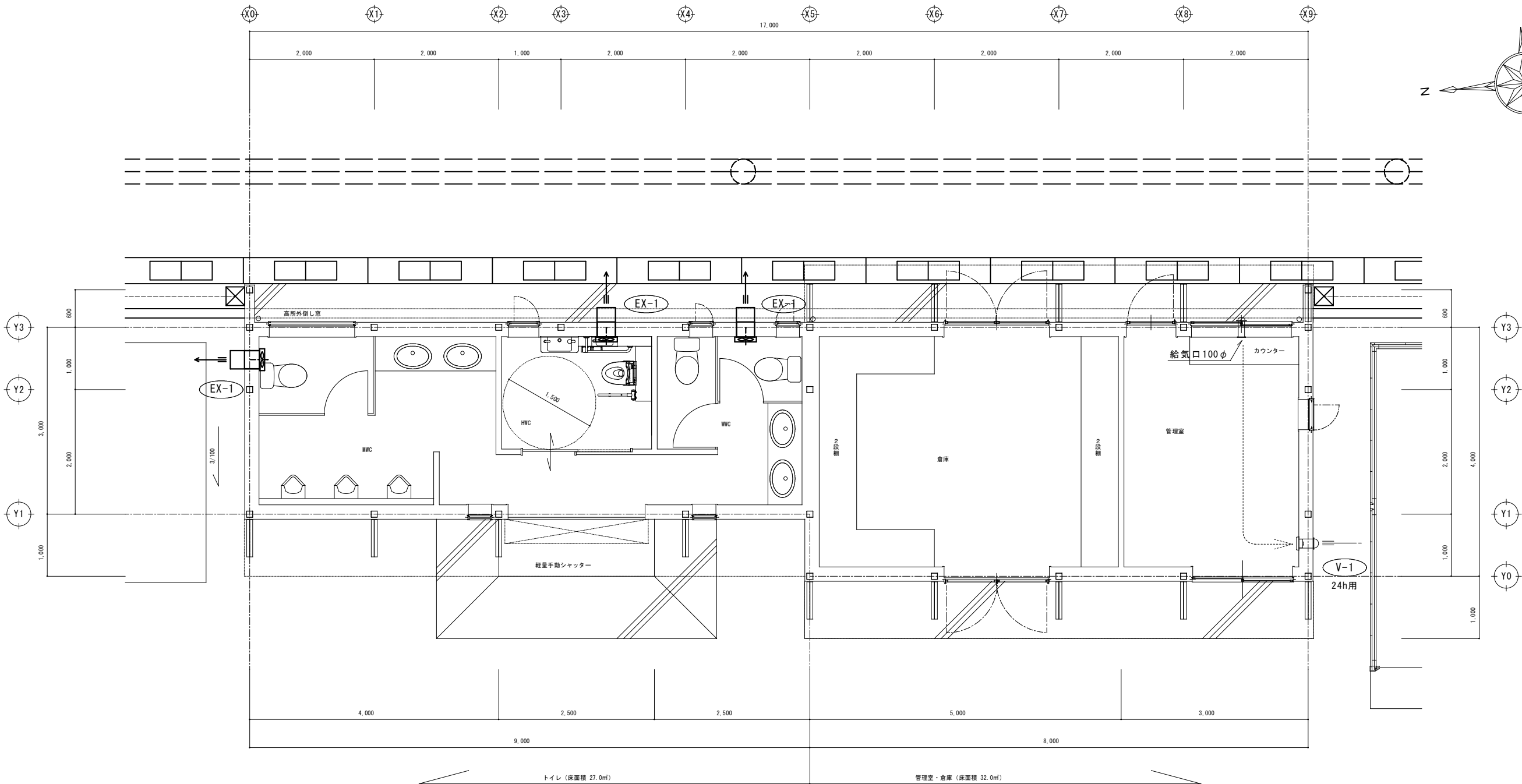
衛 生 器 具 表							
器具名	参 考 品 番		合 計	1 階			
	T O T O	L I X I L		M W C	W W C	H W C	屋 外
洋風大便器	CS232B, SH232BA, TCF226, YH702	BC-Z30S, DT-Z350, CF-21ALJ, CF-63HST	3	1	2		
コンパクトバリアフリースイレパック	XPDAALS6122WWW	PTWC-CC180L1NNW, CW-PC1201-NECK-UR2-TU	1			1	
小便器	UFS900JS	U-A51AP	3	3			
洗面器	L532, TLC11AR	L-2295, LF-E02	4	2	2		
マーブライトカウンター	ML55 (L=1940) オニックス	MB-600SS (L=1940)	1	1			
マーブライトカウンター	ML55 (L=1635) オニックス	MB-600SS (L=1365)	1		1		
化粧鏡	YM4560AE	KF-4560	4	2	2		
散水栓	T28UNH13, SUSBOX共	LF-33-13-CV	1				1

主 要 機 器 表								
記 号	名 称	仕 様		電 源		設置場所	台数	備 考
				相	電圧	容量 (KW)		
EX-1	ダクト用換気扇	形 式	格子タイプ	1	100	11.5 W	MWC, WWC, HWC	3
		能 力	20 cm × 468 m3/h					EX-20EK9-C (三菱)
		付属品	電気式シャッター					FY-20EE5/43 (ハナソニック)
		その他	ステンレス製ウエザーカバー 防鳥網 木枠					
V-1	パイプファン	形 式	角形格子グリル	1	100	6.1 W	管理室	1
		能 力	150 mm × 80 m3/h × 10 Pa					V-12PS8 (三菱)
		付属品	電気式シャッター					FY-12PTE9 (ハナソニック)
		その他	ステンレス製深形セルフード					



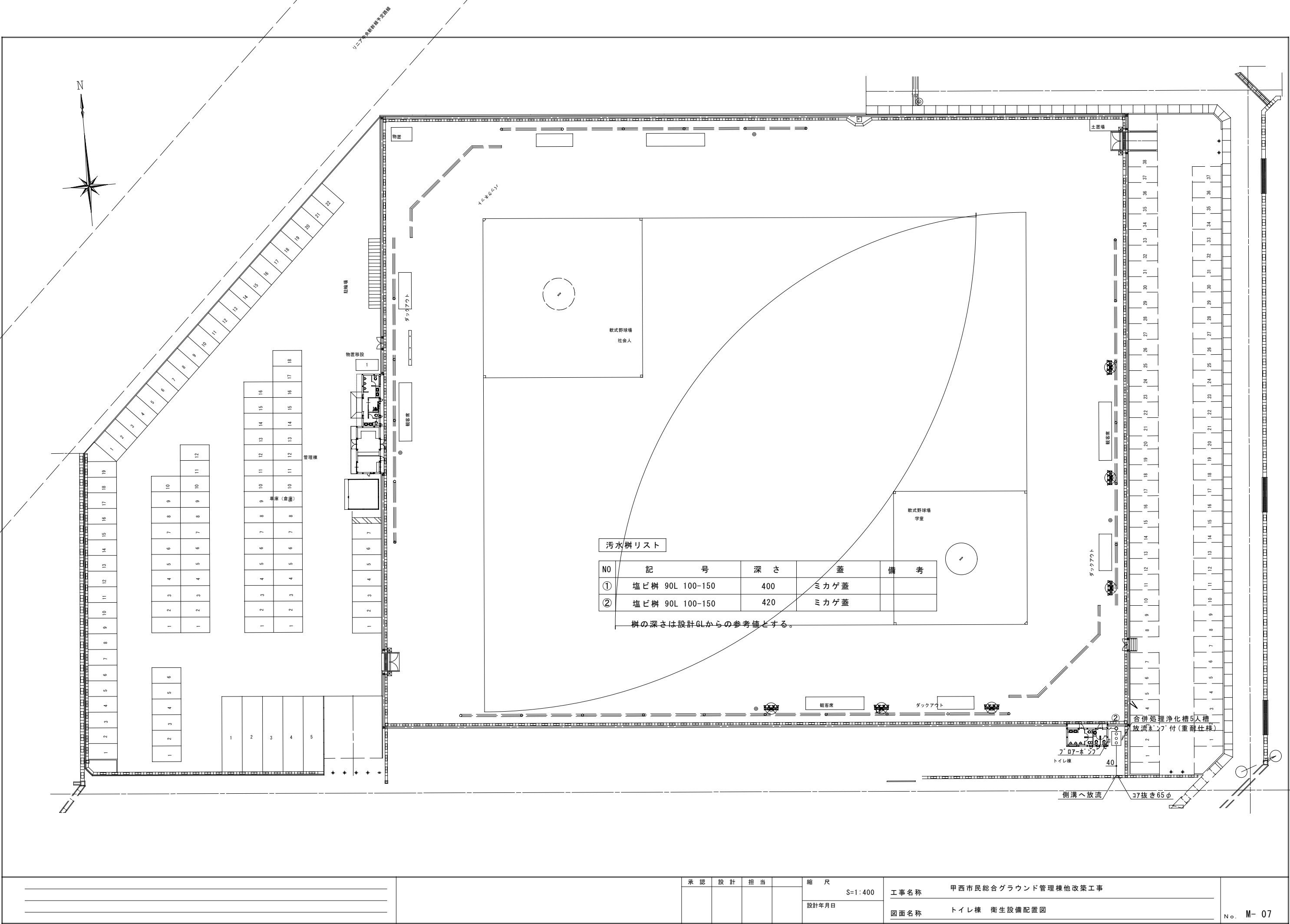
平面図 S=1/50

<div><div></div><div></div><div></div><div></div></div>		承認	設計	担当		縮尺	工事名称 甲西市民総合グラウンド管理棟他改築工事	図面名称 管理棟 衛生設備平面図	No. M- 04
						S=1:50 設計年月日			



平面図 S=1/50

階	室 名	シックハウス換気チェック								
		面積 (Af)	天井高	容積	シックハウス 対策室容積	換気種別	設計換気量	換気回数 換気量/室容積	判定	型番
		m2	m	m3	m3		CMH	回/h	0.3回/h以上	
1 階	管理室	12.00	2.5	30.00	30.00	3	80	2.6	OK	P-12PS8



汚水樹リスト

NO	記 号	深 さ	蓋	備 考
①	塩ビ樹 90L 100-150	400	ミカゲ蓋	
②	塩ビ樹 90L 100-150	420	ミカゲ蓋	

樹の深さは設計GLからの参考値とする。

承認 設計 担当

縮 尺

S=1:400

設計年月日

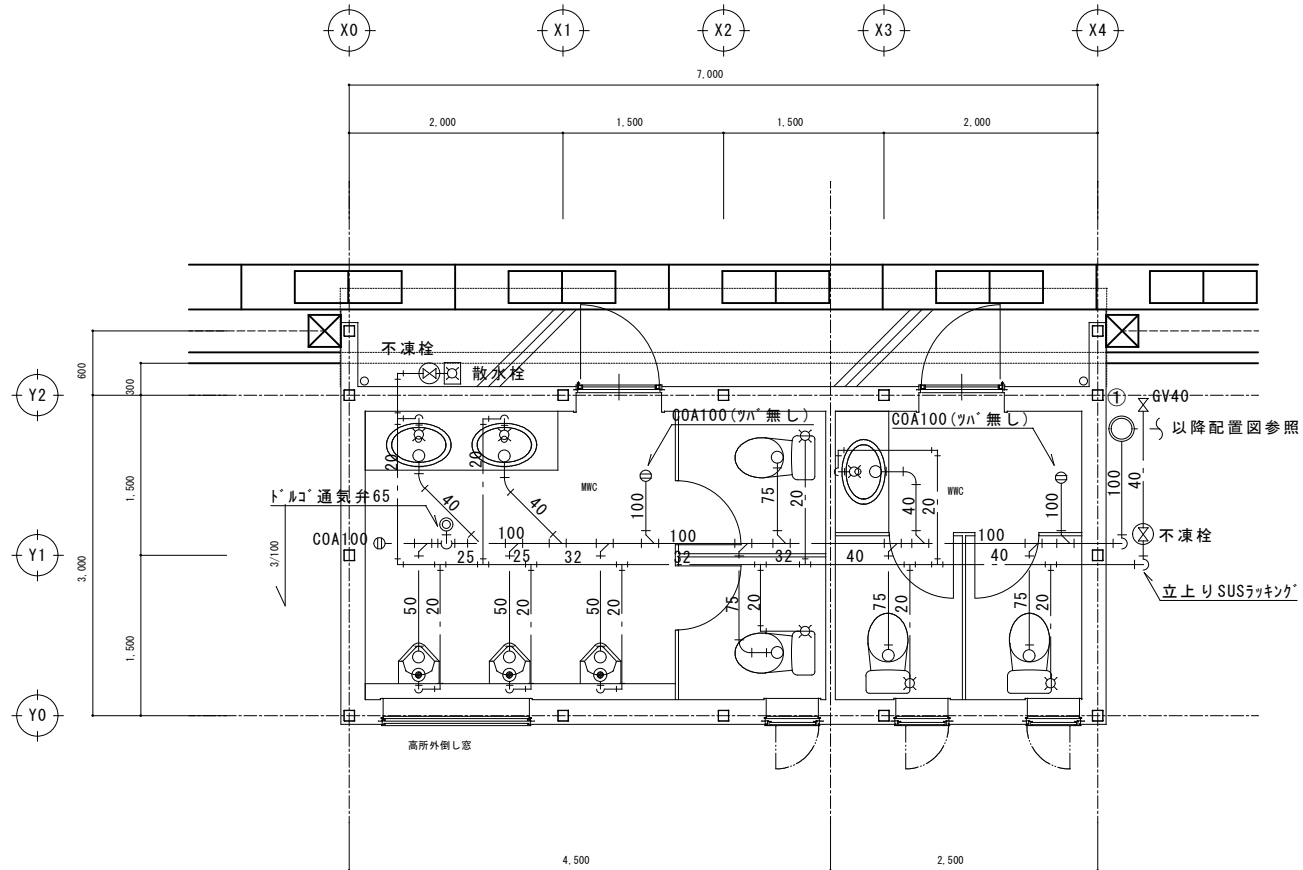
工事名称 甲西市民総合グラウンド管理棟他改築工事

図面名称 トイレ棟 衛生設備配置図

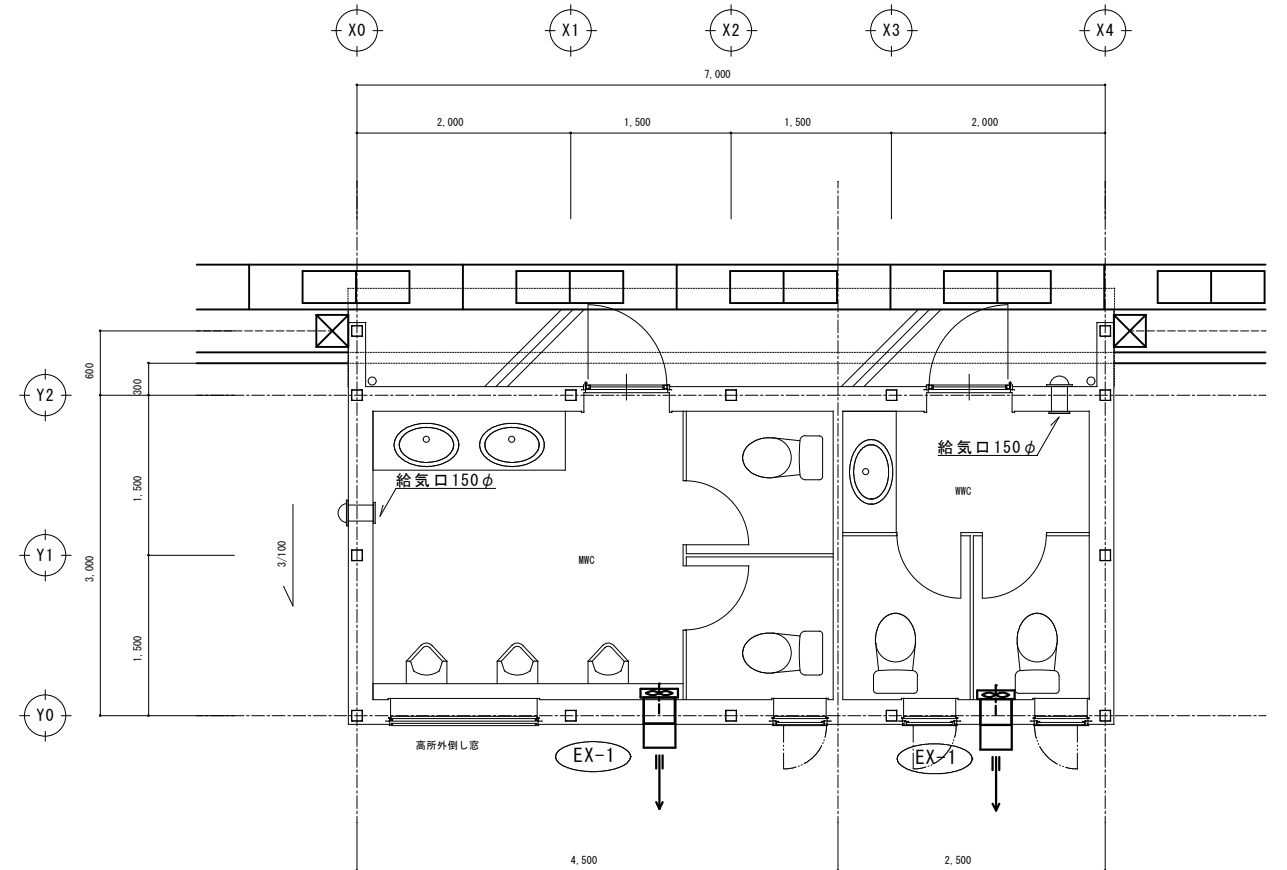
No. M- 07

衛 生 器 具 表								
器具名	参 考 品 番		合 計	1 階				屋 外
	T O T O	L I X I L		M W C	W W C			
洋風大便器	CS232B, SH232BA, TCF226, YH702	BC-Z30S, DT-Z350, CF-21ALJ, CF-63HST	4	2	2			
小便器	UFS900JS	U-A51AP	3	3				
洗面器	L532, TLC11AR	L-2295, LF-E02	3	2	1			
マーブライトカウンター	ML55 (L=1800) オニックス	MB-600SS (L=1800)	1	1				
マーブライトカウンター	ML55 (L=1135) オニックス	MB-600SS (L=1135)	1		1			
化粧鏡	YM4560AE	KF-4560	3	2	1			
散水栓	T28UNH13, SUSBOX共	LF-33-13-CV	1					1

主 要 機 器 表								
記 号	名 称	仕 様		電 源		設置場所	台数	備 考
				相	電圧	容量 (KW)		
EX-1	ダクト用換気扇	形 式	格子タイプ	1	100	11.5 W	MWC, WWC	2
		能 力	20 cm × 468 m3/h					EX-20EK9-C (三菱)
		付属品	電気式シャッター					FY-20EE5/43 (ハナソニック)
		その他	ステンレス製ウエザーカバー 防鳥網 木枠					

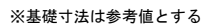


平面图 $S=1/50$

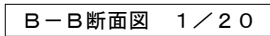
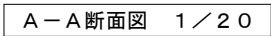


平面图 $S=1/50$

o. M- 09



ブロワ 平・断面図 1/20



仕 様 表					
設計番号					
型式名称		CA-5 型			
処理対象人員		5 人			
汚水量		1. 00m ³ /d			
流入水質		BOD200mg/L	COD100mg/L	T-N 45mg/L	SS 160mg/L
放流水質		BOD 20mg/L	COD 30mg/L	T-N 20mg/L	SS 15mg/L
①	沈殿分離槽	有効容量		0. 3 17	m ³
②	嫌気ろ床槽	有効容量		0. 6 00	m ³
③	ピークカット部	有効容量		0. 1 20	m ³
④	接触ろ床槽	有効容量		0. 2 96	m ³
⑤	処理水槽	有効容量		0. 1 65	m ³
⑥	消毒槽	有効容量		0. 0 15	m ³
⑦	放流ポンプ槽	有効容量		0. 0 29	m ³
総 容 量		有効容量		1. 5 13	m ³
機 器 装 置 仕 様					
嫌気ろ床槽ろ材 (円筒状)		PPまたはPE			充填率 4 3%
接触ろ床槽ろ材 (ロール状)		PPまたはPE			充填率 6 1%
接触ろ床槽ろ材 (板状)		PPまたはPE			充填率 2 1%
ブロウ		60L/min	φ13	連続運転	1台
放流ポンプ		80L/min	130W	φ30	自動交互運転 2台
槽本体 FRP					
パイプ類 PVC、PPまたはPE					
マンホール FRP (1500K)					
消毒剤 固形塩素剤					

配管仕様	
露出配管（ブロウ廻り）	ＶＰ
土中配管	φ４０以下～ＶＰ・φ５０以上～ＶＵ
槽内配管	メーカー仕様

- 注 1) 上部は T-6 荷重とする。
- 注 2) 機器電源は単相 100V とする。
- 注 3) 図中の "G、L" は浄化槽位置での仕上げレベルを示す。
- 注 4) 浄化槽からブロワまでの距離は 5m 以内とする。
- 注 5) 流入管・放流管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。
- 注 6) 臭気管工事は別途とする。又接続工事は浄化槽工事範囲外とする。

放流ポンプ槽配管仕様	
排気管	V U 5 0
電線管	P F D 3 6

注1) 放流ポンプ槽の排気管は必ず接続のこと。接続工事は浄化槽工事範囲外とする。

注2) 排気管の放出部は、側溝の最大水位より100mm以上（目安）上部に設置のこと。

注3) 排気管は雨水配管や放流配管、他の汚水配管と絶対に合流接続しないこと。

注4) 排気管は途中で水溜りが起こるようなV字配管にしないこと。

注5) 電線管の両端はシリコンシートなどで必ずコーキング処理のこと。

施工高さ範囲					
MH	項 目	嵩上げ高さ	流入管底	放流管底	施工全高
簡易 ロック	最小寸法（この図面）	50H	G. L-350	G. L-250	1860H
	最大寸法	300H	G. L-600	G. L-500	2110H
ボルト ロック	最小寸法	100H	G. L-420	G. L-320	1930H
	最大寸法	300H	G. L-620	G. L-520	2130H

注) 製品全高は、製品規格で+10、-20mmの公差があります。
流入・放流管底は、製品規格で製品全高に対し±10mmの公差があります。

<div style="border-bottom: 1px solid black; height: 15px; width: 100%;"></div> <div style="border-bottom: 1px solid black; height: 15px; width: 100%;"></div> <div style="border-bottom: 1px solid black; height: 15px; width: 100%;"></div> <div style="border-bottom: 1px solid black; height: 15px; width: 100%;"></div>		承認	設計	担当		縮尺	甲西市民総合グラウンド管理棟他改築工事		No. M-10
						S=1:20	工事名称		
						設計年月日	図面名称	トイレ棟 浄化槽設備平面図	